

別冊 INVITATION

大学院入試案内



日本化学会

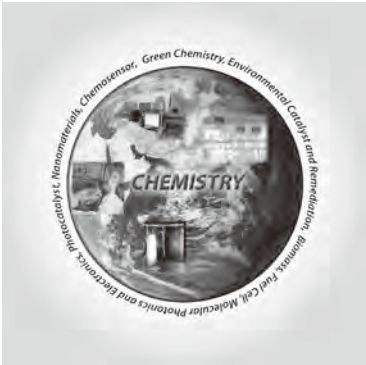
<https://www.chemistry.or.jp>

索引

北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻	1
北海道大学大学院総合化学院	2
岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻物質化学コース	3
東北大学大学院理学研究科化学専攻	4
総合研究大学院大学高エネルギー加速器科学研究科	5
筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群	
化学学位プログラム	6
筑波大学理工情報生命学術院数理物質科学研究群	
応用理工学学位プログラム物性分子工学サブプログラム	7
東邦大学大学院薬学研究科	8
東邦大学大学院理学研究科	9
群馬大学大学院理工学府理工学専攻	
物質生命理工学教育プログラム	10
学習院大学大学院	11
国立大学法人電気通信大学大学院	12
国立大学法人東京医科歯科大学大学院生体材料工学研究所	13
東京工業大学物質理工学院材料系応用化学系	14
東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻	15
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻	16
東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	17
東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻薬学専攻	18
東京大学大学院理学系研究科化学専攻	19
東京都立大学大学院	20
東京都立大学大学院都市環境科学研究科環境応用化学域	21
東京薬科大学大学院薬学研究科	22
日本女子大学大学院理学研究科	23
明星大学大学院理工学研究科	24
立教大学大学院理学研究科化学専攻	25
早稲田大学先進理工学研究科応用化学専攻	26
早稲田大学パワーエネルギープロフセッション	
育成プログラム	27

神奈川工科大学大学院工学研究科	
応用化学バイオサイエンス専攻	28
神奈川大学大学院理学研究科理学専攻化学領域	29
横浜市立大学大学院生命医科学研究科	
生命ナノシステム科学研究科	30
総合研究大学院大学物理科学研究科	
構造分子科学専攻機能分子科学専攻	31
豊橋技術科学大学大学院工学研究科	
応用化学生命工学専攻	32
名古屋大学大学院工学研究科化学生命工学科関連専攻群	33
富山県立大学大学院工学研究科生物医薬品工学専攻	34
国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学	35
立命館大学大学院生命科学研究科	36
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科応用化学系5専攻	37
京都大学大学院エネルギー科学研究科	
エネルギー基礎科学専攻	38
京都大学大学院工学研究科化学系専攻群	39
大阪工業大学大学院工学研究科	
化学環境生命工学専攻応用化学コース	40
大阪公立大学大学院工学研究科	
物質化学生命系専攻応用化学分野	41
兵庫県立大学大学院理学研究科物質科学専攻	42
奈良女子大学大学院化学系	43
国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学	
先端科学技術研究科物質創成科学区分	44
鳥取大学大学院工学研究科持続性社会創生科学研究科	45
九州大学大学院工学府応用化学専攻	46
九州大学大学院理学府化学専攻	47
沖縄科学技術大学院大学科学技術研究科科学技術専攻	48

北海道大学大学院 環境科学院 環境物質科学専攻

■募集学生	■修士課程 （大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） ■博士課程 （大学院修士課程修了もしくは見込みであること）
■出願期間（年間予定）	■特別推薦入試 （修士課程4月入学）：2022年4月20日～5月9日 ■秋季入試 （修士・博士課程4月・10月入学）：2022年7月4日～15日 ■秋季推薦入試 （修士課程4月入学）：2022年10月7日～21日 ■春季入試 （修士・博士課程4月入学）：2023年1月10日～20日 入試により対象者が異なります。詳しくは専攻ホームページをご覧ください。
■試験内容	【秋季入試（2022年8月23日、24日）・春季入試（2023年2月20日、21日）】 （札幌会場） 1) 基礎化学選抜 ：英語と専門科目（物理化学と有機化学）の筆記試験および面接によって判定します。 2) 自己推薦選抜 ：英語の筆記試験およびこれまでの研究などに関する口述試験によって判定します。 3) 併願 ：基礎化学選抜と自己推薦選抜をともに受験することが可能です。 ＊英語の外部試験（TOEIC等）のスコアシートを提出すると英語の筆記試験が免除されます。詳しくは専攻ホームページをご覧ください。 【特別推薦入試（2022年5月23日）・秋季推薦入試（2022年11月16日）】 （札幌会場・東京会場） 学業成績、推薦書、およびこれまでの研究などに関する口述試験によって判定します。
■インフォメーション  	近年、様々な環境問題が顕在化しています。自然現象の根源には化学反応が関係しているので、環境問題の解明や解決には化学的な考え方や化学を基盤とした研究が不可欠です。北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻では環境問題を化学の側面からとらえ、環境に関わる物質の分布や作用を化学的観点から調べるとともに、環境浄化や環境保全のための新たな手法に関する最先端の教育・研究を行っています。 本専攻は、生体物質科学コース、ナノ環境材料コース、光電子科学コース、環境触媒化学コースからなっており、入学後はいずれかのコースに所属します。生体物質科学コースでは、生体が作り出す物質などの化学的特性や機能を調べるとともに、生体システムを利用・模倣した環境浄化・修復法および生体関連物質の高感度モニタリングシステムの開発に関する研究を行っています。ナノ環境材料コースでは、化学物質の環境での動態とその影響を調べる新規手法および原子・分子レベルで構造が制御された新規機能材料の開発に関する研究を行っています。光電子科学コースでは、有機分子や分子集合体に基づく光材料や電子材料の構築と物性解明および機能開拓を通じて、環境問題の解決への応用が可能なデバイスなどの開発を目指した研究を行っています。環境触媒化学コースでは、地球環境修復のための新規な表面機能の創製とその解明、表面機能を利用した環境修復・保全のための触媒、および新エネルギーシステムについて研究しています。 入学後は授業やセミナーなどで環境問題に関わる化学の知識を深めるとともに、研究室に所属し、修士論文や博士論文の作成のための研究を行います。また、授業や研究を通じて環境問題の解明と解決のための化学的手法を習得します。さらに、最先端の化学技術を修得するための実習プログラムも用意しています。 本専攻では化学を基盤として環境問題の解明や解決に関する教育・研究を行っていますので、化学を専門とする学生諸君の出願を特に歓迎します。また、環境問題の解決には学際的な知識と研究能力が必要とされるため、これまで化学を専門としてこなかった学生も積極的に受け入れています。
■大学院入試ガイダンスの開催	5月下旬に大阪、東京、札幌で開催、6月上旬に函館で開催、10月中旬に東京と札幌で開催、12月上旬に札幌で開催いたします。オンラインでの開催になる可能性がありますので、詳細は専攻HPをご覧ください。
■問 合 先	〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学 大学院環境科学院 環境物質科学専攻 TEL 011-706-2231 E-mail : sfmc_office@ees.hokudai.ac.jp https://www.ees.hokudai.ac.jp/division/material/

北海道大学大学院総合化学院

■募集学生	2023年（令和5年）4月入学・2022年（令和4年）10月入学 北海道大学大学院総合化学院総合化学専攻 ○修士課程（一般選抜、外国人留学生入試） ○博士後期課程（一般選抜、社会人入試、外国人留学生入試） ※最新情報・詳細はホームページを参照してください。 https://www.cse.hokudai.ac.jp/
■出願期間	2022年（令和4年）6月下旬（予定） ※詳細は募集要項（5月上旬より配付開始予定）およびホームページで確認してください。 ※2023年（令和5年）4月入学希望者を対象に、第2次募集を行う場合があります。（第2次募集を行う場合の出願期間は1月下旬を予定） ※本学院ではTOEFLまたはTOEICのスコア提出を義務付けています。 出願予定者はこれらの試験を受験し、事前にスコアシートを取得しておいてください。（詳細はホームページ・募集要項をご覧ください。）
■試験日および試験内容	○修士課程 試験日：2022年（令和4年）8月9日（火）・10日（水） 試験科目：筆答試験および口頭試問 ○博士後期課程 試験日：2022年（令和4年）8月9日（火）・10日（水） 試験科目：口頭試問
■インフォメーション  HOKKAIDO UNIVERSITY 	■国立大学唯一の理工融合で実施する化学に特化した大学院教育：本専攻は、北海道大学大学院理学院化学専攻ならびに大学院工学研究科応用化学系3専攻の改組・再編によって平成22年度4月に創設されました。同年にノーベル化学賞受賞に輝いた鈴木章名誉教授は、理学院化学専攻で学位を取得され、工学研究科で永年にわたり教育・研究を牽引された偉大な先輩です。本専攻においては、理・工の化学系・生物化学系教員が密接に連携して教育研究にあたるとともに、物質材料研究機構、産業技術総合研究所、理化学研究所の研究者が連携講座教員として参画し、化学に求められる様々な社会的要請に対応できる能力の育成を図っています。平成25年秋には、本専攻が中心となって提案した教育プログラムが文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されました。博士後期課程進学を志望する修士課程入学学生の中から希望者を募って1年次の夏にプログラム生を選抜し、将来産官学でリーダーとしての役割を担う人材へと育つカリキュラム・イベント企画を提供します。 ■基礎学理から生産プロセス・材料物性解析まで系統的カリキュラム：本専攻では、分子化学コース、物質化学コース、生物化学コースの3つの履修区分を設け、専門講義科目はもちろんのこと、理工系専門基礎科目等英語による講義を含め豊富な授業科目を提供し、化学の諸領域における研究成果を理学系・工学系の双方の立場から俯瞰した体系的な教育を行います。化学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身につけ、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力、実務対応能力を持つ人材、並びに基礎研究および応用の研究に必要な深い知識と能力を有し、独創的な研究を行うことができる人材を育成します。 ■国際的に通用する研究能力の育成：本専攻では、「国際先端物質科学大学院（AGS）プログラム」により多くの優秀な留学生を受け入れており、日本人学生が国際感覚を磨く環境が整っています。海外短期留学・海外インターンシップの支援、外国人研究者を招聘しての集中講義や学生主体の英語によるサマースクール企画を通じて、世界に通用する次世代フロンティアランナーの育成を積極的に推進します。 ■優れた業績への顕彰：本専攻では、優れた業績をあげた修士・博士後期課程学生（社会人を含む）に対する短縮修了システムが整備されています。また、特に優れた内容の博士学位論文は、Springer社よりSpringer theses（単行本）として出版されます。
■大学院入試ガイダンスの開催	最新情報・詳細は、下記URLに掲載します。
■問 合 先	〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学 総合化学院事務室 教務担当 電話：011-706-7247 FAX：011-706-7298 https://www.cse.hokudai.ac.jp/

岩手大学大学院 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース

■募集学生

2022年10月入学および2023年4月入学
 ◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース
 (一般入試、推薦入試、社会人入試、外国人留学生入試)
 ◆博士課程 理工学研究科 自然・応用科学専攻
 (一般入試、社会人入試、外国人留学生入試)

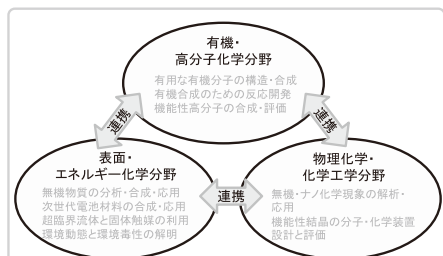
■出願期間

詳細は学生募集要項(5月下旬)またはホームページでご確認ください

■試験内容

◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース
 試験科目等: 英語(TOEIC提出)、総合科目、面接
 第1期入試 2022年8月18日(木)～8月19日(金)
 第2期入試 2023年1月24日(火)～1月25日(水)
 ◆博士課程 自然・応用科学専攻
 試験科目等: 英語(TOEIC提出)、口頭試問、面接
 第1期入試 2022年8月22日(月)
 第2期入試 2023年1月26日(木)
 詳細は学生募集要項(5月下旬)またはホームページでご確認ください

■インフォメーション



◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース
 基礎化学と応用化学およびその関連分野に関わる高度な専門性と幅広い知識を備え、地域社会と国際社会の持続的発展を実現する上で解決すべき諸問題に、積極的に取り組むことができる理学的素養と工学的課題解決能力を有する化学専門技術者の育成を行います。

◆博士後期課程 自然・応用科学専攻
 化学反応に基づく有用物質の創製および機能発現に必要な有機、無機、物理化学および化学工学分野における最新の学術研究成果を教授し、最先端の化学技術を駆使できる高度専門技術者と研究者の育成を行います。

◆当専攻では他大学からの学生を広く募集しています

◆奨学および早期修了制度
 成績優秀者には奨学制度や早期修了制度があります。

■大学院入試情報

最新の入試情報については、以下のホームページでご確認ください。
<https://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/index.html>

■問 合 先

岩手大学学務部入試課
 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
 TEL 019-621-6064
 E-mail admgse@iwate-u.ac.jp

東北大学大学院理学研究科化学専攻	
■募集学生	令和4・5年度入学 大学院入試 【博士課程前期2年の課程】 一般選抜、自己推薦入試、外国人留学生特別選考 【博士課程後期3年の課程】 一般選抜、社会人特別選考、外国人留学生特別選考
■出願期間（年間予定）	◆博士課程前期2年の課程（修士課程） ・自己推薦入試：令和4年6月1日(水)～6月7日(火)（令和5年4月入学） ・一般選抜：令和4年7月中旬（令和5年4月入学） ・外国人留学生特別選考：令和4年7月中旬（令和4年10月入学） 令和4年10月～11月（令和5年4月入学） ◆博士課程後期3年の課程（博士課程） ・令和4年7月中旬（令和4年10月入学） ・令和5年1月初旬（令和5年4月入学） ＊日程などの詳細情報はこちら →化学教室HP（ http://www.chem.tohoku.ac.jp/ ） ＊募集要項はこちら→大学院理学研究科HP（ http://www.sci.tohoku.ac.jp/ ）
■試験内容	◆博士課程前期2年の課程 ・自己推薦入試…他大学・他学部等の受験生向けの面接重視の試験 試験日：令和4年7月2日(土) ・一般選抜…筆記試験（英語・化学）および面接試験 試験日：令和4年8月中旬 ・外国人特別選考…研究概要の口頭発表および面接試験 ◆博士課程後期3年の課程…研究概要の口頭発表および面接試験
■インフォメーション 	○化学研究の世界的な一大拠点 化学科・化学専攻は5つの基幹講座（無機・分析化学講座、有機化学講座、物理化学講座、境界領域化学講座、先端理化学講座）に組織される16の研究室と学内の多元物質科学研究所、金属材料研究所、材料科学高等研究所、高度教養教育・学生支援機構に所属する10の研究室、そして学外の連携・委嘱分野を併せ全28研究室から構成されています。協力講座含め約90名もの教員が指導にあたります。その研究内容は、生物化学、天然物化学、有機合成化学、有機金属化学、金属錯体化学、超分子化学、ナノ・バイオ分析化学、レーザー分光化学、計算化学などを含み、化学の主要分野を網羅しています。これらの研究室が、研究科付属の巨大分子解析研究センターなどの協力を得て化学研究の世界的な一大拠点を形成しています。 ○特徴ある研究教育プログラム、博士後期課程支援プログラム、グローバル化へ 当専攻では、21世紀COEプログラム「大分子複雑系未踏化学」（2002年～2006年）、グローバルCOEプログラム「分子系高次構造体化学国際研究拠点」（2007年～2011年）、大学の世界展開力強化事業「持続的社會に貢献する化学・材料分野のアジア先端協働教育拠点の形成」（2012年～2016年）を遂行し、我が国最大規模のオール化学分野の協力による大学院教育・研究体制を構築してきました。最近では特に、博士後期課程学生の研究・経済支援を強化しており、2018年に「東北大学グローバル萩博士学生奨学金」プログラム、2021年に「挑戦的研究支援プロジェクト」（JST事業）、さらに2021年11月から、海外の有力大学と共同で人材育成を行う「統合化学国際共同大学院プログラム」が立ち上がっています。加えて、社会にイノベーションをもたらす博士人材の育成を目指す「産学共創大学院プログラム」、本学が主導して学際融合を目指す「学際高等教育研究院」等、強力な支援体制が整っています。その結果、現在博士後期課程在籍のほぼ全学生が授業料相当分以上の経済支援を得ています。また、博士前期（修士）課程の学生に対しても、学内外の奨学制度のほか、講義や運営面でのアシスタント業務などを通じた経済支援が充実して行われています。 化学専攻は、これらの充実したプログラムを備え、世界的に活躍する人材を輩出する世界トップの化学研究拠点としてさらなる飛躍を目指しています。 ○研究環境 学内の研究室は仙台市中心部に近い青葉山キャンパスと片平キャンパスにあります。市営地下鉄東西線の開業に伴い、仙台駅から青葉山キャンパスの最寄駅（青葉山駅）まで所要時間9分と大変便利になりました。
■大学院入試ガイダンスの開催	◆理学研究科合同入試説明会：オンライン開催予定 ◆博士課程前期2年の課程自己推薦入試説明会：令和4年5月14日(土) 開催予定 会場：東北大学大学院理学研究科（研究室見学会含む） ※詳細は化学教室HP（ http://www.chem.tohoku.ac.jp/ ）をご覧ください。
■問合せ先	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号 東北大学大学院理学研究科 教務企画（化学担当） TEL：022-795-4384／E-mail： chem-kyom@grp.tohoku.ac.jp

総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究所

■総合研究大学院大学



- 総合研究大学院大学（総研大）は、学部を持たない大学院だけの大学です。5年間で一貫した博士教育を行うのみならず、後期3年の博士教育を併設したユニークな博士教育制度を導入しています。
- 総研大では、日本が世界に誇るトップレベルの研究機関（大学共同利用機関等）が保有する実験・観測施設等を授業に活用するとともに、国際的な研究拠点として第一線で活躍する国内外からの多数の研究者集団と日常的に接触できる理想的な教育環境を提供しています。
- 総研大の教員数は、学生1人に対して2～3人を擁しており、総研大は高度の専門教育と広い視野を養う総合教育を実施しています。

■高エネルギー加速器科学研究所



- 高エネルギー加速器科学研究所（高エネ研究科）の加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻の3専攻は、基盤機関である高エネルギー加速器研究機構（KEK）にキャンパスを置き、世界最先端の研究設備・施設を用い、トップクラスの研究者による指導を行っています。
- 研究分野は、素粒子・原子核・宇宙に関する理論・実験から、加速器科学、量子ビームを使った物質・生命の研究まで、広い領域にわたっています。
- 高エネ研究科の学生には、教職員の教育研究活動の補助的業務に従事することで給与を得るリサーチアシスタント（RA）制度や、経済的理由により授業料の納付が困難である者等を対象とした授業料免除制度など、経済的な支援制度が用意されています。
- SOKENDAI研究派遣プログラムといった海外の学会参加やインターンシップに必要な経費（旅費・滞在費など）を助成する事業があり、研究助成、支援も充実しています。

■2022年度入試について



- 総合研究大学院大学は2023年4月に、現在の6つの研究科体制から、1つの先端学術院（仮称）体制へ移行することについて、検討を開始しました。そのことに伴い、2022年度に実施する入学者選抜のスケジュールについても、変更を検討しております。詳細は、以下のページをご覧ください。

【2022年度実施の入学者選抜に関するお知らせ】

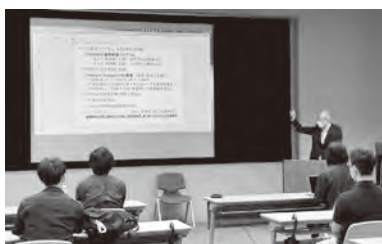
https://www.soken.ac.jp/cms_upload/EntranceExam_AY2022.pdf

【高エネ研究科（入試情報掲載ページ）】

<http://kek.soken.ac.jp/sokendai/admission/general/>



■大学院説明会の開催



- 大学院説明会：2022年7月1日（金）、2022年9月10日（土）、2023年3月10日（金）
※開催方法など、詳細は下記問い合わせ先記載の研究科HPにてご確認ください。
- 昨年度開催された説明会およびオープンキャンパスについては、オンラインのみあるいは対面とオンラインの併用で開催しました。
- 2022年度開催予定の説明会は、開催方法など決まり次第研究科ホームページへ記載致しますので、ご興味のある方は下記URLよりご確認ください。

【高エネ研究科（大学院説明会ページ）】

<http://kek.soken.ac.jp/sokendai/admission/setsumeikai/>



■問い合わせ先



高エネルギー加速器研究機構 研究協力部研究協力課 大学院教育係
〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
TEL：029-864-5128 Email：kyodo2@mail.kek.jp
高エネルギー加速器科学研究所 ホームページ：<http://kek.soken.ac.jp/sokendai/>





筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群化学学位プログラム

■募集学生	筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群化学学位プログラム（博士前期課程および博士後期課程）2023年度大学院学生募集
■出願期間（年間予定）	■博士前期課程 推薦入学試験（7月期） 2022年5月27日(金)～6月3日(金) 一般入学試験（8月期） 2022年7月1日(金)～7月21日(木) 社会人入学試験（8月期） 2022年7月1日(金)～7月21日(木) 一般入学試験（2月期） 2022年12月1日(木)～12月16日(金) 社会人入学試験（2月期） 2022年12月1日(木)～12月16日(金) ■博士後期課程 一般入学試験（8月期） 2022年7月1日(金)～7月21日(木) 社会人入学試験（8月期） 2022年7月1日(金)～7月21日(木) 一般入学試験（2月期） 2022年12月1日(木)～12月16日(金) 社会人入学試験（2月期） 2022年12月1日(木)～12月16日(金)
■試験内容	■博士前期課程 推薦入学試験（7月期）2022年7月6日(水) 外国語（英語）※：25点・専門科目（化学）：75点・口述試験（個別面接）：100点 一般入学試験（8月期）2022年8月24日(水)～8月25日(木) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：400点 社会人入学試験（8月期）2022年8月24日(水)～8月25日(木) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：400点 一般入学試験（2月期）2023年1月26日(木)～1月27日(金) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：800点 社会人入学試験（2月期）2023年1月26日(木)～1月27日(金) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：600点・口述試験（個別面接）：800点 ※外部英語試験（TOEFL、TOEIC、又はIELTSのいずれか）のスコアを提出。 ■博士後期課程 一般入学試験（8月期）2022年8月26日(金) 口述試験（個別面接）：200点 社会人入学試験（8月期）2022年8月26日(金) 口述試験（個別面接）：200点 一般入学試験（2月期）2023年1月27日(金) 口述試験（個別面接）：200点 社会人入学試験（2月期）2023年1月27日(金) 口述試験（個別面接）：200点
■インフォメーション 	化学学位プログラムでは、物理化学、無機・分析化学、有機化学などの化学の基礎を構成する分野のほか、物理学、生物学、地球化学、薬学、工学などとの境界領域化学の研究も精力的に行っています。また、数多くの研究機関を有するつくば地区の利点を生かし、国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携大学院制度を活用した新領域の研究も活発に行っています。 カリキュラムは、区分制博士課程の特徴を活かしてそれぞれの特性に合わせ、実施と評価を数段階に渡って懇切丁寧に行う、きめ細かな授業編成となっています。化学学位プログラムでは専門基礎科目と専門科目で化学の基礎と専門を幅広く修得し、優れた教員の指導の下に高度で最先端の研究を行います。これにより、博士前期課程では修士の学位を、博士後期課程では博士の学位を、無理なく取得する体制ができています。 ◎化学学位プログラムの過去の入学試験問題を配付しています。化学学位プログラム事務局（TEL 029-853-6505、メールアドレス chkyomu@chem.tsukuba.ac.jp）にお問い合わせください。 ◎本研究群では博士後期課程において、「<u>早期修了プログラム</u>」を実施しています。このプログラムは「一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士号を取得するプログラム」です。 ◎博士後期課程学生が研究に専念できるように経済的支援を行っています。
■大学院入試ガイダンスの開催	■学生募集説明会（オープンキャンパス） オンラインで開催（予定） ■社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」説明会 毎年、6月中旬と11月上旬に、つくばキャンパス（春日地区）と東京キャンパス（文京校舎）で、説明会を開催しています。2022年度は、コロナ禍の影響で対面による説明会は開催されない予定です。（早期修了プログラムに関する問合先：学務部教育企画課教務担当 TEL 029-853-2226）
■問 合 先	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学学務部教育企画課大学院入試担当 TEL 029-853-2230、2231 または、 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学大学院理工情報生命学術院数理物質科学研究群化学学位プログラムリーダー 二瓶雅之 TEL 029-853-4238 nihei@chem.tsukuba.ac.jp

筑波大学 理工情報生命学術院 数理物質科学研究群 応用理工学学位プログラム 物性・分子工学サブプログラム

■募集学生	◆大学院博士前期課程 募集人員63名（7月実施推薦入試および8月実施、1-2月実施一般入試の合計） ◆大学院博士後期課程 募集人員13名（8月実施、1-2月実施一般入試の合計） 最新の情報は募集要項公開後（2022年4月中旬～下旬）にご確認ください
■出願期間	◆8月実施一般入試：7月上旬～中旬 ◆1-2月実施一般入試：12月上旬～12月下旬 最新の情報は募集要項公開後（2022年4月中旬～下旬）にご確認ください
■試験内容	◆大学院博士前期課程 一般入試 ○筆記試験：専門科目500点（専門基礎課題から2問、専門課題から1問を選択） ○外国語（英語）：200点（TOEIC、TOEFLもしくはIELTSのスコアで換算） ○口述試験：300点 ◆大学院博士後期課程 一般入試 ○口述試験：200点（研究プレゼンテーションと質疑応答） 最新の情報は募集要項公開後（2022年4月中旬～下旬）にご確認ください
■インフォメーション  筑波大学 University of Tsukuba  	◆物性・分子工学サブプログラムについて 【プログラム概要】 物性物理、材料、化学、バイオテクノロジー、ナノサイエンスなどの複数の分野が互いに密接に連携して物質科学の高度な専門教育を行うとともに、内外との交流を通じて学際的な研究を推進しています。新物質・新材料の合成、構造や物理化学的性質の解明、およびそれらの応用に関する研究を、ミクロからマクロなレベルにわたり、実験および理論的手法を駆使して進めています。物質を基盤とする最先端研究が、量子物性、量子理論、材料物性、物質化学・バイオの4分野と物質・材料工学クラスで進められています。 【人材育成】 物質、材料からデバイス、計測技術に至る多様な工学的分野において、基礎から応用まで、物理、化学、生物学的視点に立って、インパクトを持つ先端的材料・技術の開発、またその基礎となる学術的知見の蓄積など、総合的な視野で社会の発展に寄与する人材の育成を目指しています。また様々な国から広く留学生を受け入れています。 【連携研究】 エネルギー物質科学研究センター（TREMS、白川英樹本学名誉教授のノーベル化学賞受賞を記念して設立した学際物質科学研究センターから改組）、計算科学研究センターなどと連携して、研究を推進しています。 ◆研究分野紹介 【量子物性分野】 先端的な測定や試料作製法による物性実験の研究（6研究室）：物質のミクロな物性に注目して基礎的な研究を行うとともに、実社会で役に立つ応用的な研究も進めています。超伝導体、誘電体、半導体、磁性体、金属などを幅広く対象とし、量子力学などを用いてミクロな性質を解明しています。 【量子理論分野】 量子力学的理論計算による物性研究（6研究室）：原子、分子、クラスター、固体の量子物性・光物性・電子物性の理論的研究を行っています。超高速量子ダイナミクス、非線形光学過程、強相関系物理、高温超伝導、量子コンピュータ、固体電子状態、生体機能などを対象にした計算科学の研究を行っています。 【材料物性分野】 原子の配列・結合状態の解明と制御からの物性研究（7研究室）：金属・合金・セラミックス・金属錯体など、様々な無機材料の特性を、原子の結合や配列状態から捕らえ、画期的な性能を持つ材料の開発に応用するべく、研究を行っています。 【物質化学・バイオ分野】 化学・生物を基盤とした機能材料開発と物質機能研究（13研究室）：化学や生物を基盤とした新しい機能性物質や触媒の開発、物質機能の解明、および新規有機・高分子デバイス、バイオデバイス、エネルギーデバイス等の開発に関する研究を行っています。 【物質・材料工学クラス（前期課程のみ）】 物質材料研究機構（NIMS）研究員によるナノテクノロジー研究（8研究室）：コンビナトリアル化学、ナノ組織制御やナノ粒子制御技術を用いたガラス材料、鉄鋼材料、磁性材料や、再生医療のための生体材料の開発、強相関物質・超伝導材料等の基礎研究など、幅広い研究を行っています。後期課程は、物質・材料工学サブプログラムへ進学します。
■大学院入試ガイダンスの開催	オープンキャンパス：オンデマンド配信・ホームページでご確認ください
■問 合 先	サブプログラム関連：〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学 理工情報生命学術院 数理物質科学研究群 応用理工学学位プログラム 物性・分子工学サブプログラムリーダー 黒田眞司 TEL/FAX 029-853-5365 e-mail: kuroda@ims.tsukuba.ac.jp サブプログラムホームページ：http://www.ims.tsukuba.ac.jp 入試・事務関連：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学教育推進部入試課大学院入試 TEL 029-853-2230/2231（募集要項：4月下旬に公開予定） http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/information.html 過去問：物性・分子工学サブプログラム事務室 029-853-5443 suuri_kougaku@un.tsukuba.ac.jp

東邦大学大学院 薬学研究科

■募集学生	◆修士課程 薬科学専攻 10名 ◆博士課程 医療薬学専攻 5名
■出願期間（年間予定） 入試日程の詳細については、HP 他募集要項を必ずご確認ください。	◆修士課程 薬科学専攻 特別選抜入試（1次）：2022年6月13日（月）～6月25日（土） 一般（1次）・特別選抜入試（2次）：2022年8月15日～8月27日（土） 一般（2次）・特別選抜入試（3次）：2023年1月30日（月）～2月10日（金） ◆博士課程 医療薬学専攻 一般（1次）：2022年8月15日（月）～8月27日（土） 一般（2次）・社会人（1次）：2022年11月7日（月）～11月19日（土） 社会人（2次）：2023年1月30日（月）～2月10日（金）
■試験内容	◆修士課程 薬科学専攻 入試 特別選抜入試（1次）：2022年7月2日（土） 一般（1次）・特別選抜入試（2次）：2022年9月3日（土） 一般（2次）・特別選抜入試（3次）：2023年2月18日（土） 試験科目 面接、一般入試のみ筆記試験（英語、但し免除制度有） ◆博士課程 医療薬学専攻 入試 一般（1次）：2022年9月3日（土） 一般（2次）・社会人（1次）：2022年12月3日（土） 社会人（2次）：2023年2月18日（土） 試験科目 筆記試験（英語）、プレゼンテーション・面接
■インフォメーション  東邦大学は 2025 年に 100 周年を迎えます。	◆修士課程 薬科学専攻 薬科学専攻には、薬学の特徴である幅広い研究領域に関連する23講座を有し、各研究分野での最先端の研究と教育を行っております。本専攻では 薬学分野のみならず自然科学系分野からの学生を広く募集 しております。本専攻では薬を取り巻く学術と技術の進歩に貢献する、創薬科学を中心とした研究者を養成します。講義科目を通じて薬学の基礎的知識を学び、演習科目と各自が定めたテーマに基づく研究科目の履修を通じ、薬学の専門的知識・技術を修得します。 ◆博士課程 医療薬学専攻 医療薬学専攻には、薬学の専門性に対応する4つの研究分野として医薬品分析評価学、薬物治療学、分子病態解析学、医薬品分子設計学があり、各研究分野での医療に関連する最先端の研究と教育を行っています。本専攻では 6年制の学部卒業生、自然科学系分野の修士課程修了者、社会人も広く募集 しています。薬学研究科担当教員を中心として、本学医学部教員、医療センターの薬剤師等による指導のもと、薬剤師や研究者として自立して医療活動、研究活動を行うために必要な、高度な専門性と研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養います。 ◆キャンパス 薬学研究科のある習志野キャンパス（最寄り駅：JR津田沼駅または京成大久保駅）は、東京駅や成田空港から1時間ほどの緑に囲まれた環境にあります。本学は2025年に100周年を迎えます。新研究棟（薬学部D館）を中心に最新の研究設備を揃え、今後もさらに環境整備が行われます。また本学には3つの医療センター（大森病院・大橋病院・佐倉病院）があり、「臨床に強い」という特長を生かして研究面でも積極的な交流が行われています。
■問 合 先	〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学薬学研究科 TEL：047-472-1217 E-mail：phar.kyomu.narashino@jim.toho-u.ac.jp https://www.toho-u.ac.jp/phar/graduate/index.html 

東邦大学大学院 理学研究科

■募集学生

博士前期課程（91名）及び 博士後期課程（17名）

〔化学専攻、生物学専攻、生物分子科学専攻〕
〔物理学専攻、情報科学専攻、環境科学専攻〕

■入試日程・試験内容

【博士前期課程】

試験区分		試験内容	出願期間	試験日
8月	一般入試	専門科目・英語・面接	2022年 8/1(月)～8/15(月)	8/20(土)
	社会人入試	英語・面接		
	外国人入試			
	特別選抜入試			
2月	一般入試	専門科目・英語・面接	2023年 2/1(水)～2/8(水)	2/24(金)
	社会人入試	英語・面接		
	外国人入試			
	特別選抜入試			

【博士後期課程】

試験区分	試験内容	出願期間	試験日
一般入試	英語・専門科目	2022年 8/1(月)～8/15(月)	8/20(土)
8月 社会人入試			
外国人入試			
一般入試	英語・専門科目	2023年 2/1(水)～2/8(水)	2/24(金)
2月 社会人入試			
外国人入試			

＊入試区分により出願資格が異なります。

また、専攻により試験内容が異なる場合がありますので、詳細は必ずHP・募集要項により確認してください。

■インフォメーション



自然とは何だろう。
生命とは何だろう。

東邦大学大学院理学研究科は、自然科学の研究教育を通して、高度な専門知識に裏打ちされた問題発見・解決能力を身につけた人材を育成することを使命としています。そのため、理学に関する学術の理論及び応用の研究を通して、その深奥を究め、ひいては文化の発展と人類の福祉に寄与することを目的としています。この目的を実現するために、理学研究科では、基礎的な自然科学を中心に据える物理学、化学、生物学の3専攻だけでなく、現代の情報技術を支える情報科学、生命と化学の結合を目指す生物分子科学、持続可能な社会の創成を目指す環境科学専攻の3専攻を加えた計6つの専攻が設置されています。

〈専攻・研究部門〉

化学専攻：無機・分析化学、物理化学、有機化学
生物学専攻：進化・生態学、機能生物学、人間生物学
物理学専攻：宇宙・素粒子物理学、物性物理学、量子・原子物理学
生物分子科学専攻：分子生物学、分子科学、分子医学・生理学
情報科学専攻：情報科学
環境科学専攻：環境化学、環境生態学、地球環境科学、環境管理・創成科学

■問 合 先

〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1

東邦大学習志野学部学事課 理学部教務担当

電話：047-472-1157・7208 FAX：047-472-1188

E-mail：kyoumu@sci.toho-u.ac.jp

https://www.toho-u.ac.jp/sci/graduate/scigrad_exam/index.html



群馬大学大学院理工学府 理工学専攻 物質・生命理工学教育プログラム

■募集学生	群馬大学大学院理工学府理工学専攻 2023年度 大学院博士前期課程（修士課程）・博士後期課程（博士課程）学生募集 博士前期課程（理工学専攻全体として）募集定員 300名 （物質・生命理工学教育プログラムとして96名程度） 博士後期課程（理工学専攻全体として）募集定員 39名
■出願期間（年間予定）	2022年7月中旬（予定）
■試験内容	・博士前期課程 筆記試験（基礎科目および専門科目：有機化学、無機・分析化学、物理化学、生物学・生物化学の4分野から出題）、英語および面接。英語については、事前にTOEIC、TOEFL等を受験し、出願時にスコアシートを提出。（ただし、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、スコアシートの提出を求めない可能性があります。） ・博士後期課程 口述試験および面接 ＊いずれも、2022年8月下旬に実施予定（昨年度は博士後期課程は12月、3月にも実施）
■インフォメーション 	2013年4月、群馬大学大学院工学研究科は、「群馬大学大学院理工学府」として改組され、理学と工学を融合した新たな体系に基づく教育の実施を目指す組織として出発致しました。「物質・生命理工学教育プログラム」は、従来の工学研究科応用化学・生物化学専攻の理念を引き継ぎながら、より理学を重視した教育・研究を行っている部門です。 現在、化学分野では、従来から行われてきた分子レベルの科学研究および新材料物質の開発に加え、最近では生命現象の解明や新薬の開発などの生物に関連した研究が盛んに行われています。一方、生物分野の先端的な研究では、分子レベルでの構造・機能解明が重要であり、化学を基盤とする生物科学の新しい展開が進められてきています。つまり、化学と生物の境界はなくなっており、これらを融合した領域は今後大きく発展することが期待されます。本教育プログラムでは、この融合領域をターゲットの一つとし、物質科学・生物科学に関する基礎から応用までの知識と最先端の技術を修得するための教育を行っています。物質科学、生物科学、計測科学に関する専門科目は言うまでもなく、理学系分野間の融合のための基礎的科目や高度実践スキルを習得するための実践実習科目などが開講されています。 研究活動においては、研究組織である大学院理工学府分子科学部門の研究室に配属されて、修士論文や博士論文の作成に向けて実践的かつ最先端の研究を行うことになります。分子科学部門には30をこえる研究室が所属しています。これだけ多くの研究室が存在する化学・生物系の専攻（組織）は、全国でもあまり例がありません。また、各研究室では物質の構成原理と物性の解明、生活を豊かにする新物質・新材料の創製・開発、医学・薬学への応用を目指した生体メカニズムの解明などの多彩な研究を推進しています。様々な研究テーマの中から、皆さんの興味にもっとも合致した研究テーマを見つけることができるでしょう。さらに、年々、新たな装置や設備が導入され、研究環境はますます充実してきていますので、皆さんにとって有意義で、実り多い研究生活が送れるでしょう。 本教育プログラムでは、以上の教育・研究活動を通して、化学に関する知識・理論を基盤として、幅広い理工学分野において、国際社会で活躍できる技術者・研究者を育てています。化学や生物化学分野に広く関心があり、従来の学問分野の壁を越えた自由な発想で新しい領域を探索し開拓していくことに興味と意欲のある学生諸君の出願を歓迎します。
■大学院入試ガイダンスの開催	2022年5月下旬（予定）群馬大学大学院理工学府 大講義室（予定） ※ただし、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、オンライン開催とする可能性があります。
■問 合 先	〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学理工学部 学務係大学院担当 TEL 0277-30-1039 FAX 0277-30-1061 E-mail : t-gakumu@jimu.gunma-u.ac.jp http://www.st.gunma-u.ac.jp/

学習院大学大学院

■募集学生	学習院大学大学院 自然科学研究科 化学専攻 2023年度 大学院博士前期課程(修士課程)・博士後期課程(博士課程) 学生募集
■出願期間 (年間予定)	秋季募集： 出願は2022年8月上旬、試験は2022年9月上旬を予定* 春季募集： 出願は2023年1月中旬、試験は2023年2月下旬を予定* *詳しい日程はお問い合わせ下さい。
■試験内容	入学者の選考は、学力試験（筆記試験・口頭試問）、TOEIC L&R（団体特別受験制度（IPテスト）も可）のスコア、および出身学校の成績によります。 筆記試験の科目は、化学（物理化学、有機化学、無機化学：合計180分）です。 （過去問は本学アドミッションセンターにて入手可能） 詳しくは、学習院大学のホームページより「入試情報」をご覧ください。 https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/guraduate/exam/index.html に自然科学研究科博士前期（後期）課程 化学専攻のリンクがあります。
■インフォメーション キャンパスは、都心にありながら緑豊かな自然環境に恵まれています。  目白の高台に建つ南7号館（理学部棟） 化学専攻の9研究室はこの建物の中にあります	私たちの化学専攻は、物理化学、有機化学、無機・分析化学の3分野、合計9研究室からなっています。大学の規模は小さいですが、実験を重視したユニークな研究を行っており、それぞれの分野で世界的にも高く評価されています。各研究室には教授（准教授）の他に助教がおり、高い水準の教育環境を整えています。また、建物は新しく、競争的資金などによって整備された一級の装置が揃っています。 院生と教員の距離が近く、いっしょになって明日の化学を作り出すべく研究を進めています。国際学会で研究成果を発表する大学院生も多く、大学が渡航費や学会参加費を補助する制度もあります。 各研究室の研究内容は、化学科のホームページをご覧ください。 https://www.chem.gakushuin.ac.jp/ 自然科学研究科には化学専攻の他に、物理学専攻、数学専攻、生命科学専攻もあり、研究交流も行われています。
■大学院入試ガイダンスの開催	特に予定はありませんが、施設見学等のご希望は歓迎致します。 詳細は下記の問合先までご連絡下さい。 なお、オープンキャンパス時にも関連資料を入手できます。
■問 合 先	住所：〒171-8588 豊島区目白1-5-1 学習院大学理学部 電話：03-5992-1107、Fax: 03-5992-1029（理学部） 資料等はアドミッションセンターへご請求下さい。 https://www.univ.gakushuin.ac.jp/contact/form-admissions.html 電話：03-5992-1083・03-5992-9226 Fax：03-5992-9237 大学ホームページ https://www.univ.gakushuin.ac.jp

国立大学法人 電気通信大学 大学院

■募集学生

電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 基盤理工学専攻 化学生命工学プログラム
令和5年度大学院博士前期・後期課程学生募集

■出願期間

2022年6月6日～6月9日 博士前期課程推薦入試【7月実施】
2022年7月20日～7月26日 博士前期課程・後期課程一般入試【8月実施】
外国語（TOEIC/TOEFL）の出願期日にも留意のこと
2023年1月4日～1月10日 博士後期課程一般入試【2月実施】

■試験日程・内容



本学ウェブサイトの入試案内に掲載される最新の情報をご覧ください。
7月1日(金) 博士前期課程推薦入試
7月15日(金) 推薦入試合格発表
8月17, 18日(水, 木) 博士前期課程一般入試
(専門科目400点, 外国語(TOEIC/TOEFL) 100点, 面接100点)
8月19日(金) 博士後期課程一般入試
9月9日(金) 一般入試合格発表
2023年2月1日(水) 博士後期課程一般入試

■プログラム紹介

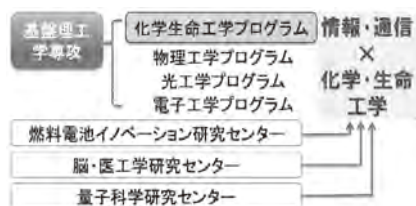


図1 化学生命工学プログラムの紹介

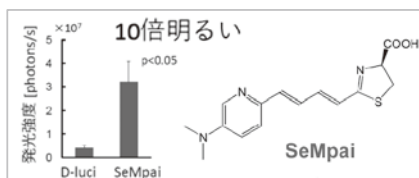


図2 生物発光材料の開発(牧昌次郎研究室)



図3 高輝度分子蓄光(平田修造研究室)



図4 DNA集合体の機能探索(田仲真紀子研究室)

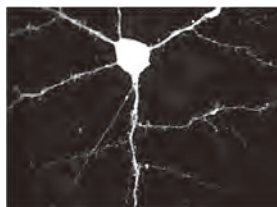


図5 記憶の仕組みと制御(松田信爾研究室)

本専攻の幅広い研究・教育

学域(学部)は3類からなり、大学院は4専攻で構成されます。「化学生命工学プログラム」は「基盤理工学専攻」の4つの教育プログラムの1つです(図1)。

本学は文部科学省・研究大学強化促進事業に採択された実績をもち、世界レベルの研究に取り組んでいます。基盤理工学専攻では、広く理工学の研究・教育をする環境が整っています。一般的な化学分野にとどまらず、**生命科学、物理工学、電子工学、光学**などと密接に結びついた研究・教育が行われています。

本プログラムの理念・内容

化学生命工学プログラムでは、**材料化学と生命科学**が融合した学問領域の研究・教育を行っています(図1)。現在、**有機化学、無機化学、物理化学、生命科学**を含む化学や生物学が専門の19名のスタッフが活動し、本専攻の他プログラムも含めると約40名の研究者が材料開発に携わっています。また電気通信大学には**燃料電池、脳・医工学、量子科学、マテリアルインフォマティクス**などの目標を掲げた研究センターも数多く活動しており、さらには、IT、AI、ロボティクス分野との連携もあります。学内の研究室間の自由な雰囲気や、横断的講義の受講を通して、**自分の力で新しい科学、工学を生み出す気風**にあふれています。

基盤技術が最先端を創る

化学関連の研究室をいくつか紹介しましょう。
牧研究室では生体の窓と呼ばれる近赤外で光る**バイオイメー징用の生物発光材料の開発と実用化**を行っています(図2)。
平田研究室では、**計算科学を活用して励起子と分子構造の関係の理解を開拓しながら、分子を合成して高輝度蓄光材料の創成とその応用開拓を目指しています**(図3)。
田仲研究室では、**生命機能との相関の解明や材料開発を視野に入れ、外部環境に応じて形成されるさまざまなDNA集合体の機能と特性を探索しています**(図4)。
松田研究室では、**記憶・学習といった脳・神経機能を支える細胞内の分子メカニズムを解明し、脳機能を制御する技術の開発を目指しています**(図5)。
他にも、ペプチドなど人工中分子による創薬エンジニアリング、ホテルやウミホテルに学ぶ光機能材料開発と結晶化学発光の探求、ナノテクノロジー材料の一つである単分子磁石、高周期の元素を含む有機金属光学、フラーレンの材料化学、金属材料機能を解明する放射線化学、分子ビームによる極限的計測、分子・結晶構造化学、超音波化学、イメージングを駆使する生体機能科学や運動メカニズム解明、神経系の分子機構と制御などについても研究しています。

材料系技術者・研究者を目指す人を歓迎します

電気通信大学は京王線調布駅から徒歩5分に位置し、**都心や多摩地域からのアクセスが抜群**です。オープンキャンパスなどにぜひ一度訪れてみてください。
化学が得意で、生命、電気、光学、情報、通信、機械にも通じた、一級の技術者・研究者を目指すならば、電気通信大学大学院基盤理工学専攻の化学生命工学プログラムがおすすめです。幅広く奥深い化学の研究に共に励みませんか。

■ガイダンス等



4月中旬:【大学院説明会】オンデマンド動画を公開します。
質問・相談は入試課大学院入試係(open-camp@office.uec.ac.jp)まで。
3月～6月:【研究室見学】教員一覧から連絡先を調べて、直接研究室の教員とやり取りをする形になります。来学での見学の対応は、今後の状況によります。
5月21日(土):【オープンラボ】ウェブ開催の場合、5月20日(金):特設サイト開設

■問い合わせ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学
Tel 042-443-5490(石田)

国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院／生体材料工学研究所

■募集学生



国立大学法人

東京医科歯科大学

TMDU

2023年度入学 大学院入試

修士課程 【医歯理工保健学専攻】(学位：理学、工学、他)

博士課程 【生命理工医療科学専攻】【医歯学専攻】(学位：理学、工学、他)

＊希望分野の教授にあらかじめ連絡をとり、承諾を得た上で出願して下さい。

■出願期間

修士課程 6月20日～6月24日(予定、4月以降に正式アナウンス)

博士課程 1次募集：7月25日～7月29日(予定、4月以降に正式アナウンス)
2次募集：11月21日～11月25日(予定、4月以降に正式アナウンス)

■試験日および試験内容

修士課程 8月2日(予定、4月以降に正式アナウンス)

・筆記試験：英語(TOEFL-ITP)および専門科目(英語1・英語2・生物・化学・工学・臨床検査学から1科目選択)

・面接

博士課程 1次募集：9月27日(予定、4月以降に正式アナウンス)

2次募集：2023年2月6日(予定、4月以降に正式アナウンス)

【生命理工医療科学専攻】筆記試験(英語：TOEFL-ITP)および口述試験

【医歯学専攻】筆記試験(小論文および英語：TOEFL-ITP)および面接

■インフォメーション

医科歯科で
化学!?

基礎から応用まで
一流の教育・研究体制



東京医科歯科大学で化学!?

東京医科歯科大学(国立大学です!)という、お医者さん、歯医者さんになる人たちの思い浮かべるといいます。もちろん、その連想は正しいのですが、その一方で、医歯学だけではなく、「理学」や「工学」を修める大学院もあります。生体材料工学研究所(生材研)では、医療への応用を目指した生体材料に関わる世界最先端の研究を通して、理工学を修めることができます。

生体材料工学研究所?

医療基盤材料部門、生体機能修復部門、医療デバイス部門、生体機能分子部門の4つの部門からなる研究所です。ここでは、知の源泉となる純粋な化学(有機化学、高分子化学、無機化学、物理化学など)に関する基礎研究から、難病の克服に挑む「くすり」づくり、医療や歯科医療に革新をもたらす、夢のような分子・材料づくりといった、社会のニーズに応える応用研究まで、幅広い研究を行っています。一流の教員陣と世界最先端の研究をしてみませんか?

どこにあるの?

生材研は、御茶ノ水駅のすぐ近く、都心にある研究所です。

興味のある方は、ぜひ一度、見学にきてみて下さい!

(見学を希望される方は、Webをチェックして下さい!)

■大学院入試ガイダンスの開催

◆大学院受験者のための「生体材料工学研究所オープンキャンパス」

5月中に開催予定(Webでチェック!)

◆東京医科歯科大学「大学院入試説明会」

6月7日(火)に開催予定(Webでチェック!)

■問い合わせ先



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

生材研で行われている研究や入試情報、オープンキャンパスなどに関する詳しい情報はWebでチェック!

(「生材研」で検索!) <http://www.tmd.ac.jp/ibb/>

東京工業大学 物質理工学院 材料系、応用化学系

■募集学生	2023年度大学院修士課程学生募集 (2022年9月入学、2023年4月入学) 2023年度大学院博士後期課程学生募集 (一般・社会人プログラム) (2022年9月入学、2023年4月入学) https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news
■出願期間 (年間予定)	【修士課程】 2022年6月9日(木)～6月15日(水) (予定) ※修士課程募集要項は2022年4月6日(水)にWebで公開されます(冊子体の配布はありません)。 ※募集に関する詳細は必ず最新の募集要項でご確認下さい。 【博士後期課程】 2022年6月下旬～7月上旬(2022年9月入学) 2023年1月上旬～中旬(2023年4月入学) ※博士後期課程募集要項は2022年5月上旬、及び2022年11月上旬に配付されます。 ※出願に先立ち、修士課程及び博士後期課程ともに、出願資格審査の必要な場合があります。
■試験内容	【修士課程】 変更の可能性がありますので募集要項でご確認ください A日程：口述試験 2022年7月15、16、19、20日(期間内のいずれかの日) B日程：筆答試験 2022年8月17日(専門科目) 外国語：外部英語テスト(TOEIC L&R、TOEFL-iBT、the revised TOEFL Paper-delivered Test、TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL ITP Plus for China Solution)のスコアシート原本を提出 口頭試問 2022年8月17日～26日(期間内のいずれかの日) 【博士後期課程】 変更の可能性がありますので募集要項でご確認ください 英語試験：TOEFL iBT、TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL ITP Plus for China Solution、the revised TOEFL Paper-delivered Test、TOEIC L&R、IELTS ACADEMICのいずれかのスコア提出により評価します。 学位論文(又はこれに代わる研究業績)の試問、学力検査及び口頭試問
■インフォメーション	材料系と応用化学系という二つの系から構成される物質理工学院は、物質の構造・物性の理解に基づいた機能創成を行う研究者・技術者やダイナミックな物質の化学変化を操る原理・手法を創出する研究者・技術者の育成を目指しています。本学院は、世界最高峰の研究者が相互に交流・協力し、あらゆる物質を対象とし、環境・エネルギー・資源・安全・健康の課題解決という目標に向かって若人を育成する揺り籠であり、夢に燃える彼らと共働する道場です。地球の生き物たちと共生する物質文明を創造する学びと研究に触れてみませんか。
■大学院入試ガイダンスの開催	【大学院説明会】 変更や追加の可能性がありますので、Webでご確認ください。 第1回研究室見学会(大岡山キャンパス) 3月30日(水) 第2回研究室見学会(すずかけ台キャンパス) 3月31日(木) 第3回研究室見学会(すずかけ台キャンパス) 4月9日(土) 第4回研究室見学会(オンライン開催) 4月16日(土) 第5回研究室見学会(すずかけ台キャンパス) 5月14日(土) 第6回研究室見学会(大岡山キャンパス) 5月28日(土)
■問 合 先	【材料系】 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 S8-25 東京工業大学 物質理工学院 材料系事務室 E-mail: mat.adm@mac.titech.ac.jp 【応用化学系】 〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1 S1-7 東京工業大学 物質理工学院 応用化学系事務室 E-mail: ent_admin@cap.mac.titech.ac.jp

東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻

■募集学生	東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻 修士課程（2023年4月入学、2022年9月入学） 博士課程（2023年4月入学、2022年9月入学） 最新情報はWebでご確認ください（http://www.appchem.t.u-tokyo.ac.jp/）。 詳細は、5月中旬から配布予定の入試案内書をご覧ください。
■出願期間	2022年7月〔修士課程、博士課程（A日程）：予定〕 2022年11月〔博士課程（B日程）：予定〕
■試験内容	入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程（A日程） 2022年8月29日（月）～8月30日（火）〔実施予定〕 試験内容：筆記試験（一般教育科目 化学、専門学術（博士のみ））、 口述試験、英語（TOEFL-iBTスコアの提出） ・博士課程（B日程） 2022年12月～2023年1月〔実施予定〕
■インフォメーション  東京大学工学部 大学院工学系研究科 応用化学科 応用化学専攻 Department of Applied Chemistry, The University of Tokyo  東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO	「21世紀は応用化学の時代」～物質を自在にデザインし、新しい機能を創出～ 応用化学専攻では、化学を基礎として環境・エネルギー・情報など多岐の分野にわたる基礎・応用研究を展開しています。高度に有能な研究者、技術者を養成するために、基礎学力の充実、高度な専門知識が獲得できるカリキュラムを設けており、さらに修士論文・博士論文研究で実践的な能力を養います。 応用化学専攻の研究室では、光に応答して機能を発現する材料の開発、新エネルギー開発、ウェアラブル半導体デバイスや有機エレクトロニクスの実現に向けたナノテクノロジー、分子性ナノ空間材料や電子機能材料の開発とその物性研究、生体分子計測と生体ナノマシン、1分子計測と制御化学、環境保全のための触媒化学研究、自己組織化による物質創成研究、次世代高分子材料の開発、人工光合成系の理論的研究、遷移金属クラスター化学などの分野において、基礎から応用にわたる幅広い研究を展開しています。 また、応用化学専攻の多くの研究室は大型プロジェクトに参画しており、さらに国際共同研究も盛んであるなど、大学院の学生が世界の第一線で活躍する研究者に成長できる研究・教育の舞台を用意しています。博士課程学生は、その約30%が学振特別研究員として月額20万円の奨励金を、このほかSEUTフェローシップや博士課程教育リーディングプログラム、化学人材育成プログラムなどにより、ほぼ全員が何らかの形で給与を受けています。
■大学院入試ガイダンスの開催	（専攻説明会*） 2022年3月30日（水） 13：00～ オンライン（Zoom）にて開催の予定 （第1回入試説明会*） 2022年5月7日（土） 13：00～ （第2回入試説明会*） 2022年6月4日（土） 13：00～（内容は第1回と同様） *変更の可能性もありますので、専攻HPを必ずご確認ください。
■問 合 先	東京大学 大学院工学系研究科 化学・生命系事務室 電話 03-5841-7211、7361、7213

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

■募集学生	東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 修士課程（2023年4月入学、2022年10月入学） 博士課程（2023年4月入学、2022年10月入学） ※最新情報はWebでご確認ください http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/curriculum/graduate/admission/ 詳細は、5月から配付される入試案内書をご覧ください。
■出願期間（年間予定）	2022年6月30日(木)～7月6日(水)
■試験内容	入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程 2022年8月29日(月)～9月2日(金) [実施予定] 試験内容：筆記試験、口述試験及び提出書類等
■インフォメーション  東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO  化学システム工学専攻  大学院入試情報	化学とシステムの思考の融合～化学システム工学専攻 化学システム工学専攻では、化学に対する広範な知識をベースに、環境・エネルギー・医療・安全性などの問題に正面からシステムチックにアプローチし、化学と社会との密接な関係を築く研究を行うことができます。 化学システム工学専攻の特徴は、単に面白いからという理由で分子や物質を合成するのではなく、ある目的・機能をもった分子・物質、材料・デバイスを開発し、さらにそれをどのように応用すれば、社会的なニーズに応えることができるかを、常に念頭において研究を行っているという点です。そのため、企業からの共同研究の申し込みも多く、学生達も積極的に研究と向き合っています。 化学システム工学専攻の研究室では、非常に基本的な原理を追究している研究から、社会における物質循環や安全性の問題に取り組んでいる研究まで、多岐にわたった研究に取り組んでいます。そしてどの研究室においても、現実の問題にどのように取り組み、解決していくかという明確な視点をもって研究を進めています。研究が社会的ニーズに応えることになるのです。
■大学院入試ガイダンスの開催	第1回 2022年3月30日(水) 第2回 2022年4月23日(土) 第3回 2022年6月4日(土) オンライン、オンサイト同時開催予定 ※最新情報はwebでご確認ください。 http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/curriculum/graduate/admission/
■問 合 先	東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 常務委員 e-mail admission@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻

■募集学生	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士・博士課程募集 修士課程（2022年10月入学、2023年4月入学） 博士課程（2022年10月入学、2023年4月入学） 詳細については本研究科学生募集要項（2022年3月下旬～4月上旬公表予定）をご確認ください。
■出願期間（年間予定）	【修士課程】 ・学生募集要項公表 2022年3月下旬～4月上旬（予定） ・出願期間 2022年7月上旬（予定） 詳細については本研究科学生募集要項（2022年3月下旬～4月上旬公表予定）をご確認ください。 【博士課程】 詳細については本研究科学生募集要項（2022年3月下旬～4月上旬公表予定）をご確認ください。
■大学院入試ガイダンスの開催	最新情報についてホームページをご覧ください。 関連基礎科学系（http://www.dbs.c.u-tokyo.ac.jp/） 生命環境科学系（http://bio.c.u-tokyo.ac.jp/） 広域システム科学系（http://system.c.u-tokyo.ac.jp/）
■関連基礎科学系の紹介	関連基礎科学系は、基礎科学を研究する組織で、相互に関連する5つのグループで構成されています。化学の研究室は主に分子科学・物質科学のグループ（D2）に所属しています。物理化学、無機化学、有機化学の体系を中心に、分子やその集合体、表面・界面、生体疑似組織体などを対象とし、ミクロからメゾ、マクロの各階層にわたる構造・ダイナミクス・機能に関する教育・研究を、理論と実験の密接な協力のもとに行っています。より詳しい研究内容を知りたい方は、関連基礎科学系のHP（http://www.dbs.c.u-tokyo.ac.jp/）をご覧ください。
■生命環境科学系の紹介	生命環境科学系は、生命に関して分子からヒトまでを包括するきわめて学際的で先端的な研究者組織です。化学に関わる研究室は主に、生化学（核酸・タンパク質の化学）、生物物理学、細胞生物学、分子生物学などを専門としています。分子から細胞、組織と積み上げて人間を理解する方向と、ミクロな生命環境科学のあり方を考える方向性を持った人材を養成することを目指し、基礎研究から応用研究まで幅広い研究を行っています。より詳しい研究内容を知りたい方は、生命環境科学系のHP（http://bio.c.u-tokyo.ac.jp/）をご覧ください。
■広域システム科学系の紹介	広域システム科学系は、自然界から人間社会にいたるさまざまなレベルの複雑な事象の解析や問題の解決に、システムの思考を駆使して総合的・複合的に取り組んでいます。化学を方法論とする研究室は、自然体系学、複合系計画学の大講座に所属し、各専門分野に固有の分析的方法論を深めると同時に、それらをシステム論的な視点から総合化しようとする新しい基礎科学、環境科学、分析科学、エネルギー科学などの研究アプローチに特色があります。より詳しい研究内容を知りたい方は、広域システム科学系のHP（http://system.c.u-tokyo.ac.jp/）をご覧ください。
■問 合 先	〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科事務部教務課総合文化大学院チーム https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html 電話：03-5454-6050、6049

東京大学大学院薬学系研究科（薬科学専攻、薬学専攻）

■募集学生	2023年度（2023年4月及び2022年10月入学者用） 東京大学大学院薬学系研究科学生募集（薬科学専攻、薬学専攻） ■修士課程：大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者 ■博士後期課程（3年制）：大学院修士課程修了・修了見込みの者又はこれに準ずる者 ■薬学博士課程（4年制）：6年制大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者
■出願期間	【各課程共通】2022年6月中旬（予定） ■一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜（各課程共通） ■2023年4月入学者及び2022年10月入学者を募集します。 ■薬学系研究科webシステムからのオンライン出願となります。詳細については、公表可能となり次第、薬学系研究科HPで公表します。
■試験日程等	2022年8月8日(月) 及び2022年8月9日(火) ※詳細については、公表可能となり次第、薬学系研究科HPで公表します。
■インフォメーション	薬学は、医薬の創製から適正使用までを目標とし、低分子有機化合物から生体高分子に渡る生命に関わる物質全般と、物質同士の相互作用から生じる生命現象を研究対象とします。科学の立場から人類の健康維持や増進に積極的に貢献していける点が薬学の大きな魅力で、皆さんの人生を賭けて追究するにふさわしい、素晴らしい学問です。本研究科は、明日の創薬生命科学のメインプレイヤーを目指す意欲的な学生を、生物、化学、物理の広い分野から募集します。 本研究科は、薬科学専攻と薬学専攻の2専攻、33教室から成り、世界第一線の研究を行っています。また、研究に裏付けられた最高水準の学生教育により、創薬科学および基礎生命科学の発展に寄与する研究者リーダーや、医療行政に貢献する人材、さらには高度医療を担う薬剤師を、アカデミアや官公庁、製薬企業、化学メーカー、病院などに多数輩出しています。 薬学基礎研究には、生命現象からその原因分子（主に蛋白質などの生体高分子）やメカニズムを発見するトップダウンの方式と、生物活性分子（主に天然物などの低分子）から生命現象を解明、制御するボトムアップの方式の2つの方法論が存在します。生命科学という総合学問では、2つの方法論が車の両輪のように連携しながら研究を進めていく必要があります。驚くべきことに、1つの研究科内で「病態治療」を旗印に高い水準の両輪を兼ね備えているのは、世界的に見て日本の薬学だけです。 本研究科においてこの両輪は、国際卓越大学院プログラムをはじめとする統合型教育・研究プログラムによって、ますます連携を強めています。様々な学生支援体制によって、本研究科の博士後期課程学生は一定額のサポートを受けます。 修士課程から博士後期課程への進学率は約40%です。また、73人が日本学術振興会の特別研究員に採用されています（採用予定含む）。留学生は大学院学生等のおよそ13%で、48人の留学生が本研究科に在籍しています。約50%のセミナーに英語でのディスカッションを取り入れており、高いプロ意識と国際感覚を磨くことができます。各種支援プログラムのもと海外の研究・教育機関に短期留学し、更なる研鑽を積むこともできます。 その一方で、陸上および水上運動会、その他のスポーツ大会を通して、学問以外の人間関係も育んでいます。
■大学院入試説明会 （各教室からの紹介を含む）の開催	2022年5月7日(土) 13時～ ※詳細については、公表可能となり次第、薬学系研究科HPで公表します。
■問い合わせ・連絡先	東京大学大学院薬学系研究科事務部教務チーム 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 Eメール：gakuin1@mol.f.u-tokyo.ac.jp 電話：03-5841-4704（平日午前10時～17時（12時～13時を除く）） ホームページ：http://www.f.u-tokyo.ac.jp/exam/

東京大学大学院理学系研究科化学専攻

■募集学生	東京大学大学院理学系研究科化学専攻 修士・博士課程学生募集 2022年10月入学および2023年4月入学
■試験内容	出願期間・試験の内容や実施方法については、2022年5月初～中旬に下記のサイトで公開される募集要項を参照すること。 東京大学大学院理学系研究科HP： https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/
■インフォメーション     	東京大学大学院理学系研究科化学専攻では、基幹研究室（構造化学、物性化学、量子化学、化学反応学、生物有機化学、有機合成化学、物理有機化学、天然物化学、生体分子化学、固体化学、分析化学、無機化学、生物無機化学）および、社会連携講座、スペクトル化学研究センター、アト秒レーザー科学研究センター、地殻化学実験施設、革新分子技術総括寄付講座、物性研究所、大学院総合文化研究科、大学院新領域創成科学研究科、高エネルギー加速器研究機構、大気海洋研究所、地震研究所、JAXA宇宙科学研究所の化学関連領域の教員が研究と教育に参画しています。化学専攻がカバーする研究分野は極めて広く、化学を中核として、物理学や生物学などの他の自然科学分野との境界領域や、工学、医学、薬学、農学、環境科学などの領域につながる学際的な分野に及んでいます。本専攻では、将来、第一線の研究者として活躍するとともに、次世代の化学者の教育にあたることのできる指導者を育成することを教育の目標としています。そして、最先端領域の研究活動を通じ、新しい研究分野を開拓するとともに、従来の概念を超える自然観と物質観を創出することを研究の目標としています。私たちは、自然科学のあらゆる分野の基礎となる化学の最先端に立ち、新現象の発見や新物質の創製を通じて理学の発展に貢献することを目指しています。 化学専攻は、教員約100人、大学院学生約230人、博士研究員約50人から構成されています。最近5年間の実績を見ると、博士課程学生の5割以上、また国内外から集まる研究員の大多数が大学や公的研究機関に就職し、先端研究に従事するとともに、後進の教育に当たっています。英語のみで学位が取得できるグローバルサイエンス国際卓越大学院コース（GSGC）を設置しています。また、統合物質科学リーダー養成プログラム（MERIT）や変革を駆動する先端物理・数学プログラム（FoPM）を推進する中核専攻の一つとして、若手人材育成に取り組んでいます。令和3年度からは、グリーントランスフォーメーション（GX）を先導する高度人材育成プロジェクト（SPRING GX）が開始されました。化学専攻では、大学院学生や博士研究員の生活支援を充実させるとともに、国内外各地から学生を受け入れ、国際的な環境の下で学生が勉学と研究に打ち込める条件を整えています。そして、将来、国内外の教育・研究の分野において、指導的立場に立って活躍する人材の育成に力を入れています。
■大学院入試ガイダンスの開催	第1回：4月23日（土） 第2回：6月4日（土） ガイダンスは対面／オンラインのハイブリッド形式で実施予定です。当日のスケジュールやURLなどの詳細は、問合先の専攻ホームページに随時掲載します。
■問 合 先	〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号 東京大学大学院理学系研究科 学務課教務チーム大学院担当 電話 03-5841-4080 専攻HP http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/

東京都立大学大学院

■募集学生	東京都立大学 大学院 理学研究科 化学専攻 2022年度10月入学 および2023年度4月入学 いずれも博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程） 募集人数：博士前期課程35名、博士後期課程9名
■出願期間（年間予定）	＊詳しくは、募集要項をご覧ください。5月20日（金）および9月30日（金）から配布します。 ＊社会人の場合には、それぞれの事前協議、出願相談が必要です。これらの手続き方法につきましても、募集要項をご覧ください。
■試験内容	○博士前期課程（修士課程） 〔2022年度10月入学〕 8月23日（火）、および8月24日（水） 〔2023年度4月入学〕 〔夏季入試〕8月23日（火）、および8月24日（水） 〔冬季入試〕2月8日（水）、および2月9日（木） ＊英語に関してTOEFL、TOEIC、IELTSにより評価します。 ○博士後期課程（博士課程） 〔2022年度10月入学〕 8月22日（月） 〔2023年度4月入学〕 2月7日（火）
■インフォメーション	当専攻は都心からほどよい距離にある緑豊かな南大沢キャンパスに位置します。修士課程の定員35名に対して、専任の教授・准教授・助教は30名（2022年4月現在、非常勤・特任・客員教官は人数に含みません）という真の少人数教育を実践しています。当専攻では他大学、他分野、及び社会人からの学生を広く募集します。 【研究分野・研究室】 無機・分析化学、有機化学・生物化学、物理化学など化学分野を均等にカバーしており、幅広い社会ニーズや学生の興味に対応することが可能です。 錯体化学：不斉な構造を有する金属錯体の合成化学、新規なポルフィリン系配位子の合成 環境・地球化学：環境化学、大気科学、分析化学 無機化学：機能性無機材料や無機物質の合成及び分析 同位体化学：放射化学的手法を用いた機能性材料の解析 有機化学：環境低負荷型の精密合成を実現する高性能分子触媒の設計・合成、有機高機能材料 有機合成化学：新規な高周期典型元素化合物の合成、構造と反応性に関する研究 生物化学：染色体機能に関する研究、プロテオーム解析 有機構造生物化学：生体高分子のNMR観測の方法論、蛋白質の高次構造 物性物理化学：薄膜成長技術を用いた無機固体材料の合成と機能開発 反応物理化学：電子線・レーザー光線・イオンビームを用いた反応ダイナミクス研究 理論・計算化学：電子相関理論、相対論的量子化学、化学反応の理論解析 【入試情報】 博士前期課程（修士課程）の〔夏季入試〕では、化学Ⅰ（基礎問題、すべて解答、無機・分析化学、物理化学、有機化学の基礎的内容）と化学Ⅱ（選択問題、無機・分析化学、物理化学、有機化学、生物化学の計4問から2問選択して解答、基礎問題に比べてやや専門的な内容を出題予定）に分けて実施します。〔冬季入試〕は化学選択問題より出題されます。 過去の試験問題は当専攻のウェブサイトに掲載されています。
■大学院入試ガイダンスの開催	2022年度の「理学研究科大学院説明会」は6月頃に開催することを予定しております。また、大学院説明会の他に理学研究科・理学部説明会を9月頃と12月頃に開催することを予定しております。詳しい日程は、理学研究科ウェブサイトでご確認ください。 http://www.se.tmu.ac.jp/
■問 合 先	〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 東京都立大学 大学院 理学研究科 化学専攻 事務室 TEL 042-677-1111（代表）、FAX 042-677-2525、 URL http://www.se.tmu.ac.jp/chem/ 専攻長：伊藤 隆（042-677-2545）、 広報委員：歸家令果（042-677-2533） 大学院入試委員：杉浦健一（042-677-2550）

東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域

■募集学生

東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域
2022年度10月入学および2023年度4月入学 博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程）
募集人数：博士前期課程50名、博士後期課程6名

■出願期間（年間予定）

博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程）
[2022年度10月入学]
2022年7月5日(火)～7月12日(火)
[2023年度4月入学]
[夏季試験] 2022年7月5日(火)～7月12日(火)
[冬季試験] 2023年1月10日(火)～1月17日(火)
＊出願は郵送のみ受け付けます（必着）。募集要項記載の出願資格の項目によっては事前に出願資格審査が必要な場合があります。また、身体に障がい等があるため受験及び修学に際して特別な配慮を希望する方は事前協議が必要です。

■試験日及び試験科目

○博士前期課程（修士課程）
[2022年度10月入学]
[夏季試験] 2022年8月3日(水)：面接（口頭試問を含む）
[2023年度4月入学]
[夏季試験] 2022年8月2日(火)：有機化学，物理化学，無機化学
8月3日(水)：面接（口頭試問を含む）
[冬季試験] 2023年2月9日(木)：面接（口頭試問を含む）

○博士後期課程（博士課程）
[2022年度10月入学]
[夏季試験] 2022年8月2日(火)：専門科目，面接（口頭試問を含む）
[2023年度4月入学]
[夏季試験] 2022年8月2日(火)：専門科目，面接（口頭試問を含む）
[冬季試験] 2023年2月10日(金)：専門科目，面接（口頭試問を含む）

■インフォメーション



当学域ウェブサイト

当学域では、地球環境と共生しながら、有限な地球資源やエネルギーのもとで人類や社会が持続的に発展して行くために必要となる環境応用化学あるいは環境材料化学を指向し、それに貢献できる資質をもった人材を育成することを目的としています。当学域のカリキュラムは、講義の約50%を英語で行うなどグローバル化に対応した講義を実施しており、カリキュラム制度もすべての国々の学期をカバーできるクォーター制に対応しています。また、研究面では、環境、エネルギー、バイオ、ナノテクノロジーなどを包含した広大な応用分野を対象に、世界トップレベルの研究を行っています。当学域では、他大学・他分野からの学生のみならず社会人学生や外国人留学生も広く募集しています。



■大学院入試ガイダンスの開催

環境応用化学域の大学院説明会を2022年5月頃に2度開催する予定です。詳しくは環境応用化学域のウェブサイトでご確認ください。
<https://www.ues.tmu.ac.jp/apchem/>

■問 合 先

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域
e-mail: apchem@tmu.ac.jp
学域長：穴戸 哲也（042-677-2850）
広報委員：加藤俊吾（042-677-2833）
大学院入試委員：三浦大樹（042-677-2851）
※試験日及び試験科目は予定であり、変更される場合もありますので、5月中旬配布予定の募集要項で必ず確認してください。

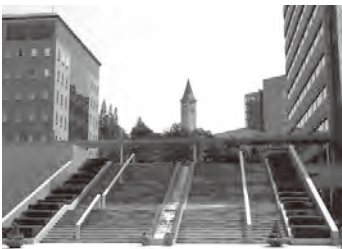
東京薬科大学大学院薬学研究科

■募集学生	薬科学専攻修士課程（薬学部やその他理系大学の卒業生もしくは卒業見込みの方） 薬学専攻博士課程（6年制薬学部卒業生もしくは卒業見込みの方、4年制薬学部卒業生で修士修了もしくは修士相当の方、他学部修士課程修了もしくは修了見込みの方） 薬学専攻博士課程では、2014年度より社会人学生も募集しています。
■出願期間（年間予定）	薬科学専攻修士課程：7月中旬 薬学専攻博士課程：7月中旬 締切日時は、正式に決定次第薬学研究科ホームページに掲載します。
■試験内容	薬科学専攻修士課程（7月下旬）：外国語（英語）と専門科目の筆記試験および面接により判定（専門科目は生物系4問、化学系4問、計8問中2問を選択）、配点は外国語50点、専門50点の計100点満点 薬学専攻博士課程（7月下旬）：外国語（英語）の筆記試験および口頭試問により判定
■インフォメーション	薬学研究科の大学院生教育では、ヒューマニズムの精神に基づいて、科学技術の発展および人類の福祉と健康に貢献するための薬学研究を推進できる高度な研究能力と学識を有し、かつ国際社会で活躍できる人材の育成を目的としています。特に、高度医療、医薬品開発、大学教育などの高等教育に関与する薬学研究者としての視点を有する医療人および指導者の育成に主眼を置いています。 本学は、約140年の歴史の中に創薬基礎研究体系を確立した大学であり、基礎研究の考え方や手法を臨床における薬物治療や医薬品開発に応用する有力な基盤を有しています。そこで薬科学専攻修士課程では、医薬品の創製に係る研究を介し人類の健康と福祉に寄与する研究者としての素養を身につけた人材の育成を目指します。一方本学は、1981年に医療薬学専攻修士課程を日本で初めて設置した大学であり、古くから医学部附属病院等と姉妹校もしくは医薬提携を結び、その基盤を生かした医療薬学研究を推進してきました。そこで2012年度から設置された薬学専攻博士課程では、このような基盤をもとに基礎薬学コースと臨床薬学コースの2コースを設け、疾病と薬物療法あるいは医薬品開発の基礎から臨床までの流れを理解しつつ、基礎薬学研究の知識と手法を用いて臨床応用を強く意識した研究を遂行できる研究者を育成します。さらには、将来の薬学教育を担う指導者的立場の薬剤師や大学教員の育成も本課程で推進していきます。 なお、2022年度の学生数（予定）は次の通りです。薬科学専攻修士課程：1年次生5名、2年次生6名、薬学専攻博士課程：1年次生15名、2年次生13名、3年次生18名、4年次生16名。 東京薬科大学大学院 薬学研究科 <pre> graph TD A[東京薬科大学大学院 薬学研究科] --> B[薬学専攻博士課程(4年制) (基礎薬学コース・臨床薬学コース)] A --> C[薬科学専攻修士課程] D[薬学部(6年制)卒業生 ■修士課程修了生 ■修士の学位を有する者と同等以上の 学力がある者(6年制教育課程卒業生) ■上記の条件に該当し、かつ医療機関、 企業、官公庁等に所属し、入学後も その身分を有したまま本学に入学を 希望する者(社会人)] --> B E[薬学部(4年制)卒業生 ■薬学部以外の理系学部(4年制)卒業生] --> C </pre>
■大学院入試ガイダンスの開催	入試説明会は、6月中旬にZoomによるオンライン形式で実施予定
■問 合 先	〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学教育研究推進部薬学事務課大学院担当 TEL 042-676-7312、FAX 042-676-5413 https://www.toyaku.ac.jp/pharmacy/about/grad-school/

日本女子大学大学院 理学研究科

■募集学生	日本女子大学大学院理学研究科 数理・物性構造科学専攻、物質・生物機能科学専攻 2023年度入学者対象大学院博士課程前期・博士課程後期学生募集
■出願期間 (2022年度入学者対象実績)	博士課程前期 9月入試 2021年8月18日(水)～24日(火) 博士課程前期(物質・生物機能科学専攻のみ)・後期 2月入試 2022年2月3日(木)～9日(水)
■試験日程および科目 (2022年度入学者対象実績)	博士課程前期 9月入試 9月6日(月)筆記試験 9月7日(火)口述試験 社会人出願あり 博士課程前期(物質・生物機能科学専攻のみ)・後期 2月入試 2月21日(月)筆記試験・論文発表 2月22日(火)論文発表・口述試験 社会人出願あり ※2023年度の出願、試験日程および科目は、4月以降にホームページにて公開予定です。
■インフォメーション  百二十年館  八十年館	～深い探求力と自由な発想力を育む、女子総合大学の大学院～ 本学は「自ら判断し、自ら決定し、自ら実行する力を身につけ、社会に貢献できる女性を養成する」という創立者・成瀬仁蔵の精神を受け継ぎ、新しい時代にふさわしい理系女性の教育に積極的に取り組んでいます。本学大学院理学研究科には、数理・物性構造科学専攻と物質・生物機能科学専攻があります。前者には数理構造部門、情報システム構造部門、構造物性部門があり、数学・情報・物理を基軸とした研究を行っています。後者には物質機能部門・細胞分子機能部門・生理分子機能部門があり、化学、生物を基軸として分子レベルまでの研究を行っています。いずれの部門でも基礎から最先端までの研究を行っており、社会に出てから実践できるように学びます。また、学際的な時代に対応するために、2つの専攻間で専攻を越えた講義の受講、意見交換ができる環境を作っています。ぜひ本研究科で表題に掲げた「深い探求力と自由な発想力」を身につけて欲しいと思います。 —奨学金— 日本学生支援機構奨学金の他、森村豊明会奨励賞など日本女子大学独自の奨学金があります。また、特に理系を目指す学生に対して、学部4年生で申請し、大学院に進学後給付される吉田育英会など、学外の奨学金も申し込みます。 —国際的な交流— 韓国の梨花女子大学、お茶の水女子大学との3大学間での交流(研究発表会など)をはじめ、大学による、学生の国際会議への参加推進方針を受けて、多数の学生が国際会議へ参加し、発表を行っています。また他大学大学院との連携も盛んに行われています。 —キャンパス— 創立120周年を迎えた2021年4月に百二十年館、杏彩館(学生棟)が開館し、本学卒業生であり世界的な建築家 妹島和世氏のグランドデザインによる新しい目白キャンパスが整いました。 創立の地・目白キャンパスに大学院家政学研究科、人間生活学研究科、文学研究科、人間社会研究科、理学研究科の5研究科18専攻と、家政学部、文学部、人間社会学部、理学部を統合。また2023年に国際文化学部(仮称)、2024年には建築デザイン学部(仮称)が設置予定(構想中)であり、私立の女子総合大学として文理融合の多様な教育環境が推進します。知性と独創的な発想力を磨く学修環境で、自らの学びと社会とを連携させる新たな空間「ラーニング・コモンズ」等も活用し、新しい明日を共創する人材を育成します。 理学研究科に関する詳細は、ホームページをご覧ください。 https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/grd_science/index.html 
■大学院入試ガイダンスの開催	詳細は、本学ホームページならびに以下連絡先まで問い合わせください。 ご相談は、オープンキャンパス時にも承ります。また関連資料は、ホームページからご請求ください。
■問 合 先	〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 日本女子大学 入学課大学院係 TEL 03-5981-3786 https://www.jwu.ac.jp/unv/

明星大学大学院理工学研究科

■募集学生	明星大学大学院理工学研究科 2023年度入学生募集 博士前期課程および博士後期課程 物理学専攻、化学専攻、機械工学専攻、電気工学専攻、建築・建設工学専攻、環境システム学専攻（学内推薦、一般、社会人入試があります）
■試験日、出願期間	一般・社会人（1期）入試：2022年9月下旬～10月上旬（出願は2022年7月頃） 一般・社会人（2期）入試：2023年3月予定（出願は2023年1月頃） いずれも、博士前期・後期課程共通。詳細は下記問い合わせ先までご連絡下さい。
■試験内容 【明星大学へのアクセス】 多摩モノレール利用 最寄り「中央大学・明星大学」駅直結 (1) 新宿駅→（京王線30分）→高幡不動駅 →（多摩モノレール7分）→最寄り駅 (2) 小田急・京王多摩センター駅→（徒歩3分）→多摩センター駅→（多摩モノレール5分）→最寄り駅	博士前期課程 一般1期、一般2期：専門科目（化学専攻では、物理化学・有機化学・無機化学・分析化学・生化学）と英語（物理学専攻、化学専攻、機械工学専攻、環境システム学専攻で実施）の筆記試験および面接 社会人1期、社会人2期：小論文および面接 博士後期課程 一般1期、一般2期：小論文（化学専攻で実施）、英語（物理学専攻で実施）と専門科目（物理学専攻、電気工学専攻で実施）の筆記試験および面接 社会人1期、社会人2期：小論文（化学専攻、電気工学専攻で実施）および面接 なお、英語に関して、外国人留学生が受験する場合には、日本語になります。 詳細は下記問い合わせ先までご連絡下さい。
■インフォメーション  都心に近く自然豊かなキャンパス  理工学研究科の研究棟30号館  生命科学・化学系（化学専攻）のHP	理工学研究科 明星大学大学院理工学研究科は6つの特色豊かな専攻からできており、最先端の学問や技術を学びながら、様々な「世界初」を生み出しています。世界の謎を解き明かす新理論、世界の誰も作ったことのない新物質の合成、優れた性能を発揮するエンジン、エネルギー問題の解決に役立つ電力技術、住みやすさと高い防災性を兼ね備えた建築、日常生活と環境保護の両立を可能とする都市設計…etc. 大学院では、「未来に繋がる新しい科学・技術」を生み出すために必要な知識や考え方を学びながら、それらを実際に活かして最先端の研究に参加できることが魅力です。 化学専攻 化学は、ナノサイエンスや生命科学など複合科学分野の発展の原動力となっており、学界はもとより産業界においても高い専門性を持つ研究者・技術者の需要が高い学問です。化学専攻では、この社会的背景から複合領域の最前線で実践されている無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、そして生命科学のそれぞれの分野に対応し、確かな専門性を持つ研究者・技術者の養成を目指しています。 ●特色ある幅広い分野から自分に適した研究ができます。 （研究例）分子からできた磁石の開発（磁性） 酵素を用いる有機合成化学（生体触媒化学） 有用な微生物酵素群の探索とその機能解析（応用微生物学） ヌクレオソーム間相互作用の解析（細胞生物学） 生体分子間相互作用の解析（構造生物学） クロマチンの機能、遺伝子発現制御機構の解明（分子生物化学） タンパク質のX線結晶構造解析（生物物理化学） ●奨学金、TA制度が充実しています。 ●中学校教諭専修免許状（理科）、高等学校教諭専修免許状（理科）を取得できます。
■大学院入試ガイダンスの開催	オープンキャンパスにおいて専攻個別相談、入試相談、施設見学、資料配付等を実施しております。詳細は大学ホームページ（https://www.meisei-u.ac.jp/index.html）等においてご確認下さい。
■問 合 先  	〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学理工学部支援センター TEL 042-591-7418 FAX 042-591-7419 E-mail : hino-rikoh-reg-staff（以下、@ml.meisei-u.ac.jp） 理工学研究科HP : https://www.sae.meisei-u.ac.jp/

立教大学 大学院理学研究科 化学専攻

■募集学生	○博士課程前期課程（試験区分：一般、社会人、外国人） ○博士課程後期課程（試験区分：一般） 試験区分、出願資格等は大学院入試要項 (https://guidelines.rikkyo.ac.jp/daigakuin2023/) をご確認ください。
■出願期間	○博士課程前期課程（夏季）6月中旬 ○博士課程前期課程（春季）1月中旬 ○博士課程後期課程 1月初旬 大学院入試要項（https://guidelines.rikkyo.ac.jp/daigakuin2023/）の公開後にご確認ください。 受験願書の提出以前に、研究室配属を希望する指導教員に連絡を取るようお願いします。 連絡先は教員ページをご覧ください。 立教大学理学部／大学院理学研究科公式サイト https://science.rikkyo.ac.jp/ 化学専攻 https://www.rikkyo.ac.jp/graduate/science/major_03.html
■試験内容	○博士課程前期課程 一般入学試験：筆記試験（基礎科目および専門科目：物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、計算化学の分野から出題、英語）、口頭試問 社会人入学試験：筆記試験（英語）、口頭試問 外国人入試：筆記試験（英語）、口頭試問 ○博士課程後期課程 一般入学試験：口頭試問
■インフォメーション   都心のキャンパスで最先端の化学が学べます。	学生と教員が一体となり取り組む研究 物理化学、無機化学、分析化学、有機化学、計算・情報化学分野にて、化学全般の最先端を学ぶことができます。「マテリアル」、「ライフ」、「エネルギー」分野にて基礎化学に基づいた未来化学の創生を目指し、学理重視の化学教育にて未来の化学人材を育成します。化学博士課程前期課程では、1学年の学生数約20名に対して、13名の教授および准教授が、きめ細かな少人数教育を行っています。大学院生には、給与奨学金、大学院学生会発表奨励金、学術推進特別重点資金（立教SFR）など充実した支援制度があります。 成長とともに未来の化学を生み出す 物質の性質や変化を体験し、「新しい物質を作り出す楽しみ」「原因を解明する喜び」を味わうことに化学を学ぶ醍醐味があります。本専攻には、様々な研究者が共同して研究を行う未来分子研究センターがあり、産学連携も盛んです。また、理化学研究所、産業技術総合研究所の連携大学院の研究室で研究を行うことも可能です。大学院生は、第一線の研究者との研究交流とともに、最先端を学び、成長できます。 物理化学：表面物理化学、光物理化学・分子分光化学、界面分光化学、高分子・液晶化学 無機化学：錯体化学・固体物性化学、錯体化学・触媒化学 分析化学：分離化学、生体物質化学、ナノバイオ分析化学 有機化学：有機合成化学・計算化学、有機元素化学・物理有機化学、有機光化学 計算・情報科学：計算分子科学
■大学院入試ガイダンスの開催	11月に大学院ガイダンスを行っています。 また、立教大学大学院化学専攻に興味をお持ちの方のご訪問は随時受け付けています。 詳細は下記の問合先までご連絡下さい。
■問 合 先	〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 立教大学 学部事務3課（理学研究科入試担当） TEL：03-3985-3302 Email：science@rikkyo.ac.jp

早稲田大学 先進理工学研究科 応用化学専攻

■募集学生	早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 応用化学専攻 大学院 一般入試（修士・博士後期課程）・社会人特別選考（修士）学生募集 （2022年9月入学及び2023年4月入学を対象） 入学試験要項：ウェブページをご覧ください。 https://www.waseda.jp/fsci/admissions_gs/
■出願期間	1. 一般入試 [修士課程] 2022年9月入学・2023年4月入学 出願：2022/6/1～6/10 筆記試験：2022/7/16 面接試験：2022/7/17 合否：2022/7/29 [博士後期課程] 2022年9月入学 出願：2022/4/25～5/6 面接試験：2022/6/4 合否：2022/6/17 [博士後期課程] 2023年4月入学 出願：2022/12/5～12/15 面接試験：2023/1/14 合否：2023/1/20 2. 社会人特別選考 [修士課程] 2022年9月入学 出願：2022/4/25～5/6 面接試験：2022/6/4 合否：2022/6/17 [修士課程] 2023年4月入学 出願：2022/12/5～12/15 面接試験：2023/1/14 合否：2023/1/20
■試験内容	◆修士課程 一般入試：筆記試験及び面接 ◆博士後期課程一般入試・社会人特別選考（修士課程）：口述・面接試験 出願開始日から二年以内のTOEFLまたはTOEIC等の英語能力証明書のスコアカード提出有り
■インフォメーション  応用化学専攻のある理工65号館と地下鉄入口	●応用化学科(専攻)は1917年の創設以来100周年を超え、歴史と伝統を誇ります。応用化学専攻は「役立つ化学、役立てる化学」をキーワードに、化学について積極的に学びたい方の意欲に応えます。 ●応用化学専攻では、最先端の化学の研究から生み出される「英知」の構築と化学系研究者の「知力」養成を目的とした研究教育を行っています。 ●本専攻では、博士後期課程への進学を推奨しています。また、博士後期課程の学生を強く支援するための制度として、本専攻独自の奨学金制度（複数）があります。 ●卒業生によるOB会として「早稲田応用化学会」が運営されており、独自の奨学金を設立するなど本専攻の学生の支援活動も行っています。在校生と一体となって種々の活動が展開されています。 ●本学博士キャリアセンターが、博士後期課程学生のキャリアパスをサポートしています。 ●キャンパスは東京都心の東京メトロ副都心線西早稲田駅に直結しています。 ●応用化学専攻に関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 http://www.waseda-applchem.jp/
■問 合 先	早稲田大学理工学術院統合事務・技術センター事務部総務課 大学院入試係 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階 Email : graduate@sci.waseda.ac.jp 電話：03-5286-3808 Fax：03-5286-1689

早稲田大学 パワー・エネルギー・プロフェッショナル (PEP) 育成プログラム

■募集学生

国公立13大学連携による電力・マテリアル系5年一貫制の博士人材育成プログラムへの進入を希望する者。連携13大学全体で20名程度の学生を募集（社会人学生は別途若干名募集）。

■プログラム進入の流れ

STEP1：下記のいずれかの大学・専攻に合格。
〈プログラム参画大学・専攻一覧〉

<https://www.waseda.jp/pep/admissions/>



STEP2：各大学で実施される本プログラムの選抜試験（SE）に合格。

■出願期間

連携大学ごとに異なるため、入学を希望する各大学のPEP卓越大学院事務局にお問い合わせください。

■試験内容

書類選考および口述試験を総合的に判定して選抜を行います。

- ・書類選考：出願書類による
- ・口述試験：今までの研究内容、志願動機、本プログラム進入後に取り組みたい研究内容、将来のビジョンについてのプレゼンテーションと質疑応答による

■インフォメーション

—君のエネルギーが、世界を動かすエネルギーに—

本プログラムは、国公立13大学連携（北海道大学、東北大学、福井大学、山梨大学、東京都立大学、横浜国立大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、徳島大学、九州大学、琉球大学、早稲田大学）による5年一貫制の博士人材育成プログラムです。Society5.0のコアである「エネルギーバリューチェーンの最適化」による新産業創出を様々なセクターで主導する「知のプロフェッショナル」を輩出することを目的としています。

エネルギーマテリアル分野から電力システム分野までを含む一貫通貫の教育による「技術イノベーション」と、制度設計や従来にない付加価値をビジネスとして結実させる「社会的イノベーション」とを両輪として目指す新たな学理「パワーリソース・オプティマイズ」の体系的な教育研究プログラムを提供しています。学生は連携13大学の教員の知を結集した科目の履修と、基盤となる博士研究に加え、産学連携研究や海外大学との共同研究等により総合的な課題解決力を身に付けていきます。

本プログラム授業科目（修了要件：5年間で45単位）は、卓越必修科目（7科目10単位）を早稲田大学に設置、それ以外の卓越専門選択科目等は各大学の研究科・専攻に設置しています。卓越必修科目は、オンデマンド形式や夏季集中合宿形式、学外連携先実習の形態で実施するため、早稲田大学以外の連携12大学に所属する学生でも充分履修可能な設計となっています。

学生は所属大学の研究科・専攻の修了に加え、本プログラム修了要件を満たすことにより「PEP卓越大学院プログラム修了認定証」が授与されます。

■問 合 先



文部科学省 卓越大学院プログラム

**POWER
ENERGY
PROFESSIONALS**

早稲田大学パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム

〈総合窓口〉

早稲田大学PEP卓越大学院プログラム事務局

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階

Email : pep-info@list.waseda.jp

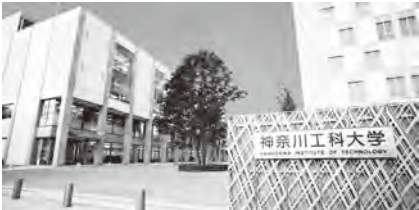
TEL : 03-5286-3238 FAX : 03-5286-2847

〈各大学PEP卓越大学院事務局〉

<https://www.waseda.jp/pep/access/>



神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻

■募集学生	博士前期課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） 博士後期課程（大学院博士前期課程または修士課程を修了もしくは見込みであること） 2023年4月入学 その他、「社会人入試」も行っています。
■出願期間（年間予定）	2022年8月中旬頃（博士前期・後期課程共通） 2023年2月上旬頃（博士前期・後期課程共通） 正式には4月以降に決定します。詳細は下記の問合先までご連絡下さい。
■試験内容	筆記試験（専門科目）、面接、成績証明書等を総合して選考します。英語の試験はTOEICのスコアを使用します。専門科目試験は、基礎問題と専門問題を以下のように出題します。 ・基礎問題：一般化学、一般生化学（生物化学含む）の範囲で各大問1題（小問数題から構成する）を出題し、大問1題を選択とする。 ・専門問題：食品栄養、食品化学、細胞生物学、生物化学、有機化学、無機化学、環境化学、物理化学より1題ずつ出題し、2題選択とする。（電卓の使用可）。
■インフォメーション 	今日、地球規模での環境との調和に配慮した技術体系の確立に加え、日本をはじめとした先進諸国では高齢化社会を迎え、食や医療に関する知識および技術基盤の整備が強く望まれています。特に、環境との調和と省資源・省エネルギーを基本とした化学プロセスの開発、高機能材料、エレクトロニクスやバイオテクノロジーの分野に於ける技術革新、新エネルギーの開発、食品の機能性の探索、生活習慣病の予防などは重要な課題であり、いずれも応用化学、バイオサイエンスが取り組むべき対象でもあります。本専攻では、このような社会的要請に応えるべく、諸分野にわたる幅広い基礎知識と応用力を養うことで、将来、有能な化学技術者、バイオ技術者、食と健康のスペシャリストとして活躍でき、しかも創造力と広い視野を合わせ持つ人材の輩出を目指しています。 本学では、昭和37年の開学時に設置された応用化学科（当時は工業化学科）を母体として、平成18年度から応用バイオ科学科を、平成22年度からは栄養生命科学科（管理栄養士養成課程）を開設しました。応用化学・バイオサイエンス専攻は、これら3学科の「応用化学」「バイオサイエンス」「食品・栄養科学」の学問領域を基盤として、教育と研究の充実に努めてきました。 博士前期課程では、科目履修の目安として、4つの履修プランを設けています。これらは「食品・栄養工学」「物質・材料工学」「生物・細胞工学」「環境・健康プロセス工学」からなり、それぞれのコースの特徴を活かした学習を可能としています。カリキュラムは、大学院生が学ぶ上で専門の基礎となる科目（専門基礎科目）と応用科目が配置されています。必修科目としてPBL系科目である「総合プロジェクト」、「特別研究（修士論文）」をおいています。「特別研究（修士論文）」は本専攻の28の研究室（2021年度現在）、また連携大学院制度として国立研究開発法人産業技術総合研究所でも指導を受けることが可能です。 博士後期課程では、単位制を採用するとともに、研究指導科目として「特別研究（博士論文）」をおいています。さらに高度な専門的知識の習得とそれらを研究に応用する力を養成し、研究者として独立し、十分に活躍できる人材の養成を目的とします。
■大学院入試ガイダンスの開催	特別に設けてありませんので、詳細は下記の問合先までご連絡下さい。
■問 合 先	お問い合わせのフォームがホームページにあります。詳しくはホームページをご覧ください（ https://www.kait.jp/ug_gr/postgraduate/ ）。 または、専攻主任 山口淳一の下記メールアドレス宛に直接お問い合わせ下さい。 Email : yamagu@chem.kanagawa-it.ac.jp 神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻

神奈川大学大学院 理学研究科 理学専攻 化学領域

■募集学生	2022年10月入学 博士前期課程および博士後期課程 2023年4月入学 博士前期課程および博士後期課程
■出願期間（年間予定）	2022年度夏季入試（10月入学） 博士前期課程・博士後期課程および 2023年度秋季入試（4月入学） 博士前期課程・博士後期課程 ・出願期間 2022年6月29日(水)～7月5日(火)（消印有効） ・試験日 2022年9月1日(木) [筆記]、9月2日(金) [口述] ・合格発表 2022年9月9日(金) 2023年度春季入試（4月入学）博士前期課程・博士後期課程 ・出願期間 2023年1月11日(水)～1月17日(火)（消印有効） ・試験日 2023年3月6日(月) [筆記]、3月7日(火) [口述] ・合格発表 2023年3月10日(金)
■試験内容	博士前期課程 一般入試・外国人留学生 [筆記試験] 外国語（90分、100点）および専門（120分、200点） [口述試験] 志望領域について 社会人特別入学 [筆記試験] 外国語（90分） [口述試験] 志望領域について 博士後期課程 一般入試・外国人留学生 [筆記試験] 外国語（90分） [口述試験] 修士論文、志望研究領域について 社会人特別入学 [口述試験] 修士論文、志望研究領域について 本専攻は、数学、物理学、情報科学、化学、生物科学の5領域からなる。志望するものは、本人が専修しようとする領域を選択する。外国語の試験は領域の内容に関する英文を課す。専門の試験は領域ごとに行ない、化学領域では、無機・分析化学、有機化学、物理化学の3分野の基礎的事項および専門分野に関する問題を出題する。
■インフォメーション 	理学研究科は、数学、物理学、情報科学、化学、生物科学の5領域が緊密に連携しながら教育と研究を行なう。 化学領域の研究室と研究主題： 加部義夫研究室（有機ケイ素化学、フラーレン化学）、河合明雄研究室（イオン液体を利用した新規光現象の発見・解明や新物質開発、光による電子スピン分極発生と活性酸素や光重合反応の計測）、川本達也研究室（酸化還元活性な金属錯体の合成、水の光分解のための錯体触媒の開発、酵素類似機能を有する金属錯体の開発）、木原伸浩研究室（官能基相互作用を利用した分子システム・分子触媒、有機合成反応の開発、酸化分解性高分子材料の開発）、東海林竜也研究室（光・熱を駆使した分子・ナノ物質の運動制御と化学反応制御）、白井直樹研究室（地球物質と地球外物質の元素組成と同位体組成を用いた太陽系の形成・進化過程の解明）、鈴木健太郎研究室（生命らしさに通じる巨視的挙動を示すソフトマターの開発と機構解明）、辻勇人研究室（合成反応の開発、発光性・導電性・エネルギー変換材料の開発、水圏環境で機能する材料の開発）、西本右子研究室（環境を視野に入れた機能水、室内環境、出土資料などの分析化学の研究）、廣津昌和研究室（外部刺激に応答する金属錯体の創製、多核金属錯体の精密構造制御と機能発現）、堀久男研究室（環境有害・負荷物質の分解・無害化、再資源化反応の開発）、松原世明研究室（実在反応系の理論設計、ONIOM分子動力学法・新規分子理論の開発と応用）
■大学院入試ガイダンスの開催	2022年6月4日(土) 予定 詳細はお問い合わせ下さい
■問 合 先	堀 久男（〒259-1293 平塚市土屋 2946 神奈川大学理学部化学科、 Tel 0463-59-4111、E-mail h-hori@kanagawa-u.ac.jp）

横浜市立大学大学院（生命医科学研究科・生命ナノシステム科学研究科）

■募集定員	■生命医科学研究科 生命医科学専攻 博士前期課程 40名 博士後期課程 10名 ■生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 物質システム科学専攻 30名 生命環境システム科学専攻 30名 ■生命ナノシステム科学研究科 博士後期課程 物質システム科学専攻 5名 生命環境システム科学専攻 5名
■出願期間（年間予定） ※生命医科学研究科の第3期募集は実施しない場合があります。第3期募集の実施有無及び両研究科の博士後期課程の日程については、大学Webサイトでご確認ください。	■生命医科学研究科 博士前期課程 学 外 推 薦：2022年 5 月31日(火)～ 6 月 3 日(金) 第1期募集：2022年 7 月25日(月)～ 7 月27日(水) 第2期募集：2022年10月24日(月)～10月26日(水) ※博士後期課程第1期募集も同じ 第3期募集：2023年 1 月 4 日(水)～ 1 月 6 日(金) ※博士後期課程第2期募集も同じ ■生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 第1期募集：2022年 7 月25日(月)～ 7 月27日(水) ※博士後期課程第1期募集も同じ 第2期募集：2022年10月24日(月)～10月26日(水)
■試験内容 ※生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程入試においては、出願時にTOEIC等の『英語資格のスコア等の証明書原本』を提出する必要があります。（詳細は、大学Webサイト、募集要項でご確認ください。）	■生命医科学研究科 博士前期課程 学 外 推 薦：2022年 7 月 2 日(土) 第1期募集：2022年 8 月17日(水) 第2期募集：2022年11月26日(土) ※博士後期課程第1期募集も同じ 第3期募集：2023年 1 月24日(火) ※博士後期課程第2期募集も同じ ※詳細は、募集要項をご確認ください。（2022年5月中旬発行予定） ■生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 第1期募集：2022年 8 月24日(水) 第2期募集：2022年11月26日(土) ※詳細は、募集要項をご確認ください。（2022年4月下旬発行予定）
■インフォメーション	■生命医科学研究科《生命医科学専攻》【鶴見キャンパス】 生命科学と医科学の融合により総合的かつ戦略的展望のもとに系統的に研究を展開し、それを基盤とした先端的かつ実践的な教育体制によって、21世紀に求められる生命医科学研究のエキスパートの養成を目指します。また、理化学研究所と産業技術総合研究所、国立医薬品食品衛生研究所等との連携により教育・研究を行います。 本研究科では要件を満たすと最短3年（博士前期1年・博士後期2年）で修士学位と博士学位が取得できます。 ■生命ナノシステム科学研究科《物質システム科学専攻・生命環境システム科学専攻》 生命ナノシステム科学研究科は、「生命・物質機能を中心とした自然現象を分子・原子を基盤としたシステムとして解明する」ことを目標とします。 《物質システム科学専攻》【金沢八景キャンパス】 電子・原子・分子レベルのナノスケールシステムにおける物質科学を展開し、生命を構築する複雑な高分子物質の構築原理の解明を目指します。 《生命環境システム科学専攻》【金沢八景キャンパス・舞岡キャンパス】 生物が外環境に適応して生命活動を営むシステムや、生命の内環境の恒常性を維持するシステム、また生命が自らの発生プログラムに基づいて生命体を形成する発生システムの分子基盤を解明します。
■大学院入試ガイダンスの開催	■生命医科学研究科 入試説明会・研究室見学 5/7(土)、7/9(土)、9/24(土) ■生命ナノシステム科学研究科 入試説明会 4/23(土) 入試相談会・オープンラボ 1回目 6/27(月)～ 7/8(金) の平日夕方 2回目 10/17(月)～10/21(金) の平日夕方 ※開催場所・方法については、問合先に記載のURLでご案内します。
■問合先	■生命医科学研究科《生命医科学専攻》 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29 横浜市立大学教育推進課鶴見キャンパス担当（入試担当） TEL 045-508-7201 FAX 045-505-3531 http://www.tsurumi.yokohama-cu.ac.jp/index.html ■生命ナノシステム科学研究科《物質システム科学専攻・生命環境システム科学専攻》 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学アドミッションズセンター大学院担当 TEL 045-787-2054 FAX 045-787-2057 https://www.yokohama-cu.ac.jp/nanobio/index.html

総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学専攻・機能分子科学専攻

■募集学生 ■出願期間（年間予定） ■試験内容

総合研究大学院大学は、2023年度より研究科の再編を検討しており、2022年度に実施する2023年度入学選抜（2023年4月入学または2023年10月入学）の募集要項は、2022年8月下旬以降に配布予定です。なお、入試日程等、本件詳細やその他情報については決まり次第、本学ホームページ等にてお知らせいたしますので、随時ご確認ください。

URL : <https://next20.soken.ac.jp/admission>

（参考）

2022年4月入学にかかる入学選抜の選抜方法

・博士課程（5年一貫制）

書類選考、英語、筆記試験（専門科目）、面接。

英語はTOEFL、TOEICまたはIELTSのスコアによる判定。

（TOEFL-PBT：500以上、TOEFL-iBT：61以上、TOEIC：586以上、IELTS：5.0以上獲得）。

専門科目は、物理化学、有機化学、無機化学、生物化学、物理学A（古典力学、電磁気学）、物理学B（量子力学、熱統計力学）の6科目から受験する科目を出願時に選択。

・博士課程（5年一貫制3年次編入学）

書類選考、面接。

面接は、これまでに行った研究及び今後志望する研究の内容を中心に実施。

■インフォメーション



総合研究大学院大学（総研大）は学部をもたない大学院のみの大学です。学部卒から入学する博士課程（5年一貫制）、修士修了から入学する博士課程（3年次編入学）が設けられています。学生は基盤機関の一つである自然科学研究機構・分子科学研究所において、最先端の研究施設を用いた高いレベルの博士研究を進め学位を取得できます。分子科学における世界の最先端研究技術・研究者の交流拠点であるため、幅広い視野や独創性、国際性が身に付きます。また、学生一人ひとりに対する手厚い教育体制を整えております。短期海外留学のほか、国内の大学・公的研究機関へのインターンシップに対する援助、学生主導によるセミナーの開催、他の総研大基盤機関や受入海外留学生との交流など、さまざまなユニークな教育を実施しています。

構造分子科学及び機能分子科学専攻では全年次の大学院生にRA（リサーチアシスタント）などによる経済的支援（博士課程（3年次編入学）で年額100万円程度）を行っており、さらに、特に優れた研究能力および将来研究者となる意欲を有する学生にはSRA制度を適用、学生生活を支援しております。

なお、本学は2023年4月より、現在の6つの研究科から、1つの先端学術院（仮称）へ移行することを検討しています（設置構想中）。

上述のとおり、本学は世界最先端の研究拠点を教育の現場として、高い専門性を持った博士人材の育成を行ってきました。一方で、刻々と変化する学術分野の動向や社会の要請を踏まえ、複合的・融合的な課題に取り組む研究者人材を育成していくには、高度に専門的な教育リソースを、分野を超えて柔軟に活用できる体制を構築する必要があります。

そのため、これまでの教育体制を見直し、先端学術院（仮称）へ移行する検討を開始しました。

専門分野を超えて新たな地平を創造する、次代の研究者育成を目指します。

詳細は以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://next20.soken.ac.jp/>

※設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合があります。

■大学院入試ガイダンスの開催

オープンキャンパス・体験入学実施予定最新情報・詳細は下記URLに掲載します。

■問 合 先

自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部国際研究協力課 大学院係
〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地
電話 0564-55-7139 E-mail : r7139@orion.ac.jp
<https://www.ims.ac.jp/>

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 応用化学・生命工学専攻

■募集学生

博士前期課程 応用化学・生命工学専攻※

令和5（2023）年4月入学

博士後期課程 応用化学・生命工学専攻※

令和4（2022）年10月入学および令和5（2023）年4月入学

※当専攻は平成31年4月に「環境・生命工学専攻」から名称を変更しました。

■入試日程および内容



I. 博士前期課程（令和5（2023）年4月入学）〈出願期間〉

(1) 一般入試、社会人入試

第1次募集：令和4（2022）年7月25日（月）～7月28日（木）

第2次募集：令和4（2022）年12月15日（木）～12月21日（水）

(2) 外国人留学生入試

令和4（2022）年12月15日（木）～12月21日（水）

(3) 高等専門学校専攻科修了生推薦入試

令和4（2022）年6月1日（水）～6月6日（月）

II. 博士後期課程〈出願期間〉

(1) 一般入試、社会人入試、外国人留学生渡日前入試（令和5（2023）年4月入学）

第1次募集：令和4（2022）年8月1日（月）～8月4日（木）

第2次募集：令和4（2022）年12月15日（木）～12月21日（水）

(2) 一般入試、社会人入試（令和4（2022）年10月入学）

令和4（2022）年6月7日（火）～6月10日（金）

*入試科目・日時の詳細については、募集要項をご確認ください。

*当専攻では長期履修制度を実施して、一般社会人の皆さんの学位と高度専門知識の取得を支援しています。これは、就職している方、育児・介護等の事情がある方など、標準修了年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）での修了が困難な方が、標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して、修了・学位取得する制度です。この場合の授業料は、標準修業年限分と同額です。

■インフォメーション



応用化学・生命工学専攻では、化学と生命科学に関わる幅広い分野の教育・研究を行い、人間社会を地球的な視点から多面的にとらえるとともに、自然と人間の共生を図りながら人類の幸福・発展に貢献できる人材を育成します。

本専攻には、応用化学コースおよび生命工学コースが設置されています。いずれの教育コースにおいても、狭い専門にとらわれない幅広い視野と思考能力を持ち、国際的に活躍できる指導的技術者を養成します。これらの教育研究を通じて、持続可能な社会を可能とする応用化学・生命工学分野の研究拠点形成を目指しています。

〈大学院博士前期課程〉

応用化学・生命工学専攻では、応用化学・生命科学分野および関連分野に関する最先端の高度な専門的知識だけでなく、その周辺分野についての幅広い学識を備え、それらを総合的に活用して技術的課題を解決できる実践的・創造的・指導的な能力を備えた、グローバルに活躍できる上級技術者・研究者、持続的発展社会に貢献できる挑戦的技術者・研究者の養成を目指しています。

〈大学院博士後期課程〉

応用化学・生命工学専攻では、応用化学・生命科学の高度な研究・開発能力および周辺分野についての幅広い最先端の高度な学識を備え、それらを統合的・発展的に活用して技術的課題を解決でき、今後の持続的発展社会の構築に求められる先導的な技術開発や応用化学・生命科学分野での先端研究開発において活躍できるだけでなく、国際舞台で十分なコミュニケーション能力をもち、世界に対して、高いレベルの研究成果を公表・発信するとともに、グローバルリーダーとして活躍できる高度上級研究者・技術者の養成を目指しています。

■問 合 先

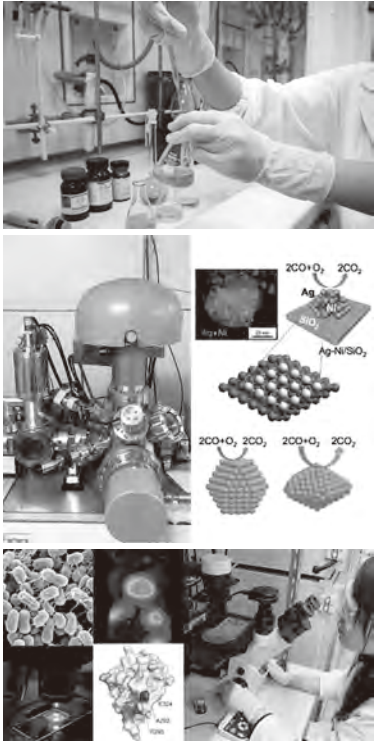
〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学入試課

TEL：0532-44-6581：FAX：0532-44-6582

電子メールアドレス：nyushi@office.tut.ac.jp

ホームページアドレス：https://www.tut.ac.jp/

名古屋大学 大学院工学研究科 化学生命工学科関連専攻群

■募集学生	2022年10月入学および2023年4月入学 名古屋大学大学院 工学研究科 有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻 博士前期課程（修士課程）および博士後期課程学生（留学生入試を含む）
■出願期間（年間予定）	筆記試験免除を希望する場合 2022年6月8日(水)～9日(木) 筆記試験免除を希望しない場合 2022年7月5日(火)～8日(金) ※詳細日程は学生募集要項を工学研究科ホームページでご確認願います (https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/) 大学院受験参照
■試験内容	◆博士前期課程 a) 筆記試験免除者選抜 書類選考と口頭試問（7月16日(土)） b) 一般選抜試験 筆記試験 【基礎部門】8月23日(火) 13:30～16:30 基礎物理化学、基礎有機化学、基礎無機化学、基礎生化学、基礎分析化学の5科目から4科目を選択して解答する。 【専門部門】8月24日(水) 9:00～12:00 物理化学、有機化学、無機化学、生化学の4科目から各2問出題される。この合計8問から4問を選択して解答する。 【口頭試問および面接】8月25日(木) 9:30～13:00 ◆博士後期課程 博士後期課程への入学希望者は、あらかじめ配属を希望する研究室の教員に連絡を取ってください。
■インフォメーション 	◆「幅広い化学分野の専門知識を習得するために必要な基礎学力をもち、新しい化学の探求と化学を通じた社会への貢献に強い意欲をもつ人」を他大学・他分野からも広く募集しています。 ◆【有機・高分子化学専攻】 ナノからマクロスケールの有機化合物の化学 私たちの生活は、医薬や有機電子材料、繊維など機能を持った有機化合物に支えられています。本専攻では、小分子から巨大分子（高分子・超分子）まで全ての有機化合物の物性・合成と応用に関する高度な専門知識が身につきます。広範な分野の世界最先端研究を通して、社会で活躍できる研究者を育成します。 ◆【応用物質化学専攻】 持続型社会を支える材料・物質の創製と応用 原子・分子レベルでの物質制御に基づき、持続可能な社会を支える新物質を生み出し応用展開する学問領域を担います。固体化学や物理化学に関わる深い知識を涵養する専門教育と、化学の視点から物質の成り立ちを解明し革新材料の創製につなげる研究を行います。新たな研究フロンティアを拓く研究者を育成します。 ◆【生命分子工学専攻】 いのちの働きを工学する 生命現象を分子レベルで解析・理解すると共に、その機能を人工的に再構築して幅広く利用することをめざしています。バイオテクノロジーの開発や生物機能を抽出・デザインする技術によって、「いのち」の精緻な働きを工学的に利用していく道を拓きます。基礎と応用を有機的につなぐ研究者を育成します。 ◆本教室では「トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラム(GTR)」を推進しています。本プログラムにより、優秀な博士後期課程学生に対する教育研究環境の整備や経済的支援を充実させ、次世代を担う国際的なリーダーを育成します。
■大学院入試ガイダンスの開催 	大学院入試ガイダンス 第1回：2022年3月19日(土)（オンライン） 第2回：2022年5月14日(土)（会場とオンライン） 会場：名古屋大学 工学部1号館 内容：有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻の各専攻についての説明、入試説明、研究室紹介、研究室見学（会場参加者向け）、質疑応答 詳細や参加申込みは下記URL（またはQRコードのリンク）へアクセスしてください。 http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/cb_news/
■問 合 先	〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科化学生命系事務室 TEL 052-789-2660 FAX 052-789-3180

富山県立大学大学院工学研究科生物・医薬品工学専攻

〔 博士後期課程は、総合工学専攻（生物・医薬品工学分野）に改組されました。〕

■募集学生	博士前期課程および博士後期課程 (一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜)
■出願期間（年間予定）	【博士前期課程】 夏入試：(全選抜) 6月上旬から7月上旬（予定） 冬入試：(一般、外国人) 10月下旬から11月上旬（予定） (社会人) 12月中旬から1月上旬（予定） ・ 博士前期課程の夏入試においては筆記試験免除制度があります。 【博士後期課程】 夏入試：(全選抜) 6月上旬から7月上旬（予定） 冬入試：(全選抜) 12月中旬から1月上旬（予定） ※詳細は5月中旬に公開予定の学生募集要項や大学ホームページ (https://www.pu-toyama.ac.jp/) にてご確認ください。
■試験内容	【博士前期課程】 夏入試（8月中下旬予定） 筆記試験および面接試験（専攻分野に関連した口述試験を含む）。 ※ TOEIC/TOEFL のスコアの提出が必須の選抜があります。 冬入試（12月上旬予定） 英語小論文、小論文および面接等。 ※ TOEIC/TOEFL のスコアの提出が必須の選抜があります。 【博士後期課程】 夏入試（8月中下旬予定）、冬入試（1月下旬予定） 英語小論文、小論文および面接等。 ※ TOEIC/TOFL のスコアの提出が必須の選抜があります。 ※詳細は5月中旬に公開予定の学生募集要項や大学ホームページ (https://www.pu-toyama.ac.jp/) にてご確認ください。
■インフォメーション 	富山県立大学大学院工学研究科生物・医薬品工学専攻は9部門からなります（酵素化学工学、応用生物プロセス学、微生物工学、生物有機化学、機能性食品工学、植物機能工学、応用生物情報学、製薬化学工学、バイオ医薬品工学）。これまでに、環境への負荷を低減するバイオテクノロジーを発展させる酵素を利活用した有用物質生産などに関する多くの研究成果（フェニルケトン症などに対する酵素を利用した診断薬の開発、酵素法によるイノシン酸の工業生産、遺伝子組換えによる抗生物質生産、抗真菌剤ミカファンギンの効率的生産法の開発、ヒト由来薬物代謝酵素発現酵母を用いた医薬品代謝物の生産、ポリフェノールを含む機能性食品の開発、植物培養細胞を用いた有用物質生産など）をあげ、県内外へ多くの優秀な人材を輩出してきました。 2017年4月からは医薬品工学科の新設に伴い、低分子医薬品と高分子バイオ医薬品の開発、製材・微細加工・再生医療技術の開発に関する大学院教育・研究もスタートさせています（製薬化学工学およびバイオ医薬品工学）。より具体的には、医薬品合成プロセスの開発、天然高分子を土台とする医薬品・生体医工材料の創成、医薬品微量分析技術の開発、疾患モデル動物の作製と応用、抗体等のタンパク質医薬品の設計および合成、自然免疫を標的とする医薬品の探索、培養細胞を使った生体組織モデルの構築、があります。 研究施設として、NMR、MALDI-TOF質量分析計、LC/ESI-TOF質量分析計、セルソーター、共焦点レーザー顕微鏡、大量並列型DNAシーケンサー、X線回析装置、動的光散乱測定装置、超遠心機、微生物・植物細胞・動物細胞培養施設、動物実験施設などが設置されており、最新の化学合成、バイオテクノロジー、および医薬品開発研究を実施することが可能です。
■大学院入試ガイダンスの開催等	大学院ガイダンスを実施する予定はありませんが、生物・医薬品工学専攻事務室あるいは上記の教員に直接問い合わせてください。 詳細は大学ホームページ (https://www.pu-toyama.ac.jp/) をご覧ください。
■問 合 先	〒939-0398 富山県射水市黒河5180 富山県立大学大学院工学研究科生物・医薬品工学専攻 事務室 TEL：0766-56-7500（内1550）、FAX：0766-56-2498

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

■募集学生	北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 先端科学技術専攻 博士前期課程：2022年10月、2023年4月入学 博士後期課程：2022年10月、2023年4月、2023年10月入学
■出願期間（年間予定）	博士前期課程（一般選抜） 【2022年10月入学】 2022年 5 月25日(水)～6 月 7 日(火) 【2023年4月入学】 （第1回）2022年 5 月25日(水)～6 月 7 日(火) （第2回）2022年 9 月 5 日(月)～9 月16日(金) （第3回）2022年11月22日(火)～12月 6 日(火) 博士後期課程（一般選抜） 【2022年10月入学】 2022年 6 月20日(月)～6 月30日(木) 【2023年4月入学】 （第1回）2022年 6 月20日(月)～6 月30日(木) （第2回）2022年10月25日(火)～11月 8 日(火) （第3回）2022年12月 7 日(水)～12月20日(火) 【2023年10月入学】 2022年12月 7 日(水)～12月20日(火) ＊試験日等、詳細は下記URLをご確認ください。 https://www.jaist.ac.jp/admissions/index.html
■試験内容	博士前期課程 出願時に提出した小論文の口頭発表（7分以内）、並びに小論文およびエントリーシートの内容に関する口頭試問（23分以内）からなる面接を重視した選抜方法です。 博士後期課程 出願時に提出した研究概要等に関する口頭発表（20分）、並びに口頭試問（30分）からなる面接を重視した選抜方法です。
■大学について	北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）は、学部を置くことなく独自のキャンパスと教育研究組織を持つ我が国最初の国立大学院大学として、1990年に創設されました。JAIST マテリアルサイエンス系は、物理・化学・バイオを根幹とする5つの研究領域において、人類・社会の課題解決や未踏分野の開拓をめざしています。 サステナブルイノベーション研究領域： 持続可能な環境エネルギー・経済社会システム構築のためのイノベーションを！ 物質化学フロンティア研究領域： 化学分野の先端知識を用いて新材料を分子・原子レベルで設計することを通して、物質化学のフロンティアを開拓する ナノマテリアル・デバイス研究領域： ナノマテリアル・デバイスの先端科学技術を究め、サステナブルな超スマート社会の実現を目指す バイオ機能医工学研究領域： バイオ機能の理解に基づく先端バイオテクノロジー研究とバイオメディカル分野への応用展開 人間情報学研究領域： 人間の情報処理機構を解明し、より高度な情報処理システムへと応用する
■オープンキャンパス、大学院進学説明会の開催	オープンキャンパス：5月20日(金)、21日(土)（予定）（8月、11月にも開催予定） ＊進学説明会や相談会も随時開催しています。 詳しい日程や開催場所、最新情報についてはウェブサイトをご覧ください。
■問 合 先	〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 教育支援課 学生募集係 TEL：0761-51-1966、Email：nyugaku@ml.jaist.ac.jp JAIST マテリアルサイエンス HP： https://www.jaist.ac.jp/ms/



立命館大学大学院生命科学研究科

■募集学生



バイオリンク（生命科学系研究棟）

- ・博士課程前期課程生命科学専攻
応用化学コース、生物工学コース、生命情報学コース、生命医科学コース
- ・博士課程後期課程生命科学専攻

■出願期間（年間予定）

2023年4月入学 前期課程・後期課程

1. 一般入試・社会人入試（2022年9月実施）
出願：2022年7月7日（木）～7月21日（木）
試験：2022年9月1日（木） 試験予備日：2022年9月4日（日）
合格発表：2022年9月22日（木）
2. 一般入試・社会人入試（2023年2月実施）
出願：2023年1月6日（金）～1月19日（木）
試験：2023年2月8日（水） 試験予備日：2023年2月11日（土）
合格発表：2023年2月22日（水）

■試験内容（一般入試・社会人入試）

最新の情報、およびその他の入試（外国人留学生入試、2022年9月入学後期課程入試）についての情報はHP（<http://www.ritsumeai.ac.jp/gr/exam/point.html/>）より入試要項をご覧ください。

【博士課程前期課程】（2022年9月実施、2023年2月実施）

- ・一般入試：書類選考、筆記試験（専門科目※¹）、外国語（英語）能力審査※²および面接試験結果による総合評価

- ・社会人入試：書類選考および面接試験結果による総合評価

※¹各コースから指定された科目から2科目選択。科目等の詳細は入試要項をご覧ください。

※²TOEIC® L&Rテストまたは、TOEFL®テストの成績通知書を基に審査。

【博士課程後期課程】（2022年9月実施、2023年2月実施）

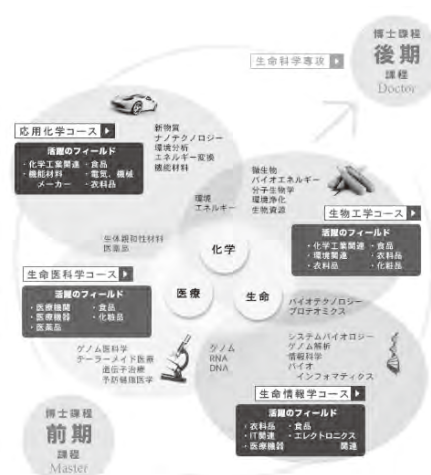
- ・一般入試：書類選考、筆記試験（英語）またはTOEIC® L&RテストまたはTOEFL®テストの成績※³、および面接試験※⁴による総合評価

- ・社会人入試：書類選考および面接試験結果※⁴による総合評価

※³詳細は入試要項をご覧ください。

※⁴研究テーマ・内容等に関するプレゼンテーションを含みます。

■インフォメーション



生命科学研究科では応用化学分野の最先端研究はもちろん、化学を基盤にエネルギー、環境、食料、医療、健康など、生命科学の幅広い分野に貢献できる人材を育成します。

【応用化学コース】物理化学・無機化学・分析化学・有機化学・生化学などを基盤とし、物質の機能を解明するための、また新物質創製を実践するための化学的理論と技術を幅広く学びます。材料化学からエネルギー、生体関連物質まで、幅広い分野で研究を展開します。

【生物工学コース】生化学、分子生物学、微生物学などを基盤とし、環境、食料、資源、エネルギーに関連する生物工学理論や技術を幅広く学びます。生物機能、生態系の構造・機能の解析、生物由来生体活性物質の解明等の基礎研究、これらを基盤とした環境、食料、資源、エネルギーなど、幅広い分野で研究を展開します。

【生命情報学コース】情報科学を利用し、生命活動の仕組みを解明することを目的として、生命科学、情報科学、生物機能の解析技術に関する専門知識を幅広く学びます。遺伝情報、タンパク分子構造・機能相関、生体機能などの数理解析を行い、生命科学、医学薬学、食品、情報技術に関連した幅広い研究を展開します。

【生命医科学コース】多岐に渡る基礎医学の先端領域とその融合領域を学び、未知の生命現象や様々な疾病の発症機構を解明します。さらに、先端技術で開発された医薬品などの新規医療技術の適切な評価と社会への応用方法も学び、広く生命医科学研究を展開します。

■大学院入試情報の公開

2023年4月入学の入試情報は、2022年4月下旬に生命科学研究科HP・立命館大学大学院 入試情報HP（<http://www.ritsumeai.ac.jp/gr/exam/point.html/>）にて公開予定です。

■問 合 先

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
生命科学部事務室：Tel (077) 561-5021、Fax (077) 561-3729
生命科学研究科ホームページ：<http://www.ritsumeai.ac.jp/gsls/>

京都工芸繊維大学 大学院工芸科学研究科 応用化学系5専攻

■募集人員

入試区分ごとの募集人員については、令和4年4月頃に公開予定の学生募集要項をご確認願います。(博士前期課程推薦入学特別入試・自己推薦特別入試は、令和4年3月中旬頃に公開予定)。

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科

応用化学系博士前期(修士)課程および博士後期課程令和5年度入学および令和4年度秋入学学生募集人員

博士前期(修士)課程：材料創製化学専攻(33名) 材料制御化学専攻(32名)
物質合成化学専攻(33名) 機能物質化学専攻(32名)

博士後期課程：物質・材料化学専攻(13名)

■試験日程(年間予定)

博士前期(修士)課程

推薦入学特別入試(3×3、大卒見込者・高専専攻科修了見込者)

令和4年6月4日(土)

一般入試(第Ⅰ期) 令和4年8月22日(月)・23日(火)

一般入試(第Ⅲ期)・社会人(第Ⅱ期)・外国人留学生 令和5年2月10日(金)

令和4年秋入学 社会人特別入試 外国人留学生特別入試 令和4年8月22日(月)

博士後期課程

一般入試・社会人特別入試(第Ⅰ期) 令和4年8月24日(水)

一般入試・社会人特別入試(第Ⅱ期) 令和5年2月10日(金)

外国人留学生特別入試 令和5年2月10日(金)

令和4年秋入学(一般・社会人・外国人留学生) 令和4年8月24日(水)

■試験内容

入学試験の詳細については、令和4年4月頃に公開予定の学生募集要項をご確認願います。(博士前期課程推薦入学特別入試・自己推薦特別入試は、令和4年3月中旬頃に公開予定)。

博士前期(修士)課程(数字は満点)

一般(第Ⅰ期) 外国語(TOEIC)100、専門基礎科目Ⅰ(高分子化学を含む有機化学)、専門基礎科目Ⅱ(物理化学)、専門基礎科目Ⅲ(物理学)、専門基礎科目Ⅳ(無機化学)、専門基礎科目Ⅴ(高分子物性を含む高分子機能工学)、専門基礎科目Ⅵ(生体関連化学)各100(専門基礎科目6科目のうちから3科目選択)

一般(第Ⅲ期) 社会人(第Ⅱ期)・留学生・推薦入試(大卒見込者・高専専攻科修了見込者)、秋入学 社会人・留学生特別入試 いずれも外国語(TOEIC)100、口述試験200

推薦入試(3×3) 口述試験200

博士後期課程 一般入試・社会人特別入試 英語(筆記)100、口述試験200
外国人留学生特別入試 口述試験300

■インフォメーション



JR京都駅より市営地下鉄烏丸線約18分、徒歩約5分



京都工芸繊維大学大学院博士前期(修士)課程の応用化学系では、下記の4専攻において、原子・分子レベルから実用新規材料までのスケール展開に沿った階層性を踏まえた、物質・材料開拓にかかわる教育・研究を展開します。具体的には、
材料創製化学：光・電子機能や環境機能など新規機能・性能を持つ材料の創製
材料制御化学：物質の集合体である材料の構造解析と物性制御
物質合成化学：新規な有機・高分子物質の合成方法の開発
機能物質化学：生体由来物質を含めた機能物質の分子レベルでの機能・構造解析の4専攻で、相互に関連した教育・研究を連携して行い、今後の主力であるハイブリッド材料・複合化材料を開発できる研究を展開し、その成果を教育に還元することで、革新的な材料開発の国際的なエンジンとなることを目的とします。

博士後期課程の物質・材料化学専攻では、「新規な物質・材料を開発するための共通的概念の修得と専門的知識の高度化」を柱にバイオインスパイアード、ナノ・マテリアル、モレキュラーデザイン、ソフトマテリアル、フォトエレクトロニクス5つの領域で、次代を担う革新的な機能材料の開発研究で先導的役割を果たし、創造性豊かで実践的外語能力や国際経験を有し、国際舞台で活躍できる傑出した人材の育成を目指します。

■問い合わせ先

入試に関する詳細については、下記担当窓口にお問い合わせ下さい。

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

京都工芸繊維大学入試課大学院入試係

TEL 075-724-7162 FAX 075-724-7160

e-mail: innyushi@kit.ac.jp

京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻

■募集学生	京都大学大学院エネルギー科学研究科 エネルギー基礎科学専攻 2023年度学生募集 修士課程および博士後期課程 エネルギー化学／量子エネルギープロセス／機能固体化学／界面エネルギープロセス／エネルギーナノ工学／エネルギー生物機能化学／生体エネルギー科学／プラズマ・核融合基礎学／電磁エネルギー学／プラズマ物性物理学／高温プラズマ物性／エネルギー光物性／中性子基礎科学／熱輸送システム工学の計14分野
■出願期間（年間予定）	出願書類受理期間 修士第1回 2022年7月8日(金)・11日(月) 修士第2回 2022年9月8日(木) 博士後期（第1次学生募集） 2022年7月8日(金)・11日(月) 修士課程（社会人特別選抜を含む）試験日程 第1回選抜 8月25日(木) 第2回選抜 9月下旬 博士後期課程（社会人特別選抜を含む）試験日程 8月26日(金) ※詳細は学生募集要項（4月末頃から配布予定）あるいは下記URLをご参照下さい。 ※2023年度博士後期課程（社会人特別選抜を含む）の第2次学生募集も予定しています。出願期間は2023年1月上旬、試験日程は2023年2月上旬の予定です。
■試験内容	修士課程 【第1回選抜】英語（2020年8月1日以降に実施されたTOEIC試験の成績証明書（原本）を提出（試験終了後に返却）、あるいは2020年8月1日以降に実施されたTOEFL試験の公式スコア票を提出。）、専門科目（数学、量子力学、電磁気学、電気電子工学、熱・統計力学、物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生化学の計10科目から2科目選択。ただし、熱・統計力学と物理化学はどちらか1科目のみしか選択できない。） 【第2回選抜】英語（TOEIC試験の成績証明書（原本）を提出（試験終了後に返却）、あるいはTOEFL試験の公式スコア票を提出。）、基礎科目（物理系、化学系の2科目から、いずれか1科目を選択する。） 博士後期課程 学生募集要項（4月中頃から配布予定）あるいは下記URLをご参照下さい。
■インフォメーション 	エネルギー科学研究科は、『エネルギー持続型社会形成を目指して、理工系に人文社会系の視点を取り込みつつ、学際領域としてエネルギー科学の学理の確立をはかり、地球社会の調和ある共存に寄与する、国際的視野と高度の専門能力をもつ人材を育成する』という理念を掲げて1996年に発足しました。当専攻（上記14分野）では、物理化学、材料化学、電気化学、固体化学、生物化学などの「化学」と、量子力学、電磁気学、統計力学、物性物理学、プラズマ物理学、核物理学などの「物理学」を基盤にして、エネルギー問題解決に貢献するための基礎科学についての教育と研究を行います。国内外を問わず、他大学・他分野からの学生を広く募集しています。
■大学院入試ガイダンスの開催	第1回選抜説明会 4月16日(土) 13:30～16:30 京都大学本部構内百周年時計台記念館2階 5月14日(土) 13:30～16:30 京都大学本部構内百周年時計台記念館2階 第2回選抜説明会 9月3日(土) 13:30～16:30 京都大学本部構内百周年時計台記念館2階 ＊新型コロナウイルス感染拡大状況によってはオンラインでの説明会を行います。 詳細はHPをごらんください。
■問 合 先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院エネルギー科学研究科 TEL 075-753-9212（直通） 研究科入試情報URL http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/jp/admission/ 基礎専攻URL http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/jp/fundamental/ E-mail: fes-exam@energy.kyoto-u.ac.jp

京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群

■募集学生	京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群 2023年度学生募集 修士課程 博士後期課程 ○創成化学専攻群 ○材料化学専攻 ○物質エネルギー化学専攻 ○先端化学専攻群 ○分子工学専攻 ○高分子化学専攻 ○化学工学専攻 ○合成・生物化学専攻 ○化学工学専攻
■出願期間（年間予定）	出願期間 2022年6月下旬を予定。 修士課程試験日程 ○創成化学専攻群 2022年8月22～23日（予定） ○先端化学専攻群 2022年8月22～23日（予定） ○化学工学専攻 2022年8月22日（予定） 博士後期課程試験日程 2022年8月25～26日（予定） ※2023年度修士課程外国人留学生の学生募集も予定しております。出願期間は2023年1月上旬、試験日程は2023年2月中旬の予定。 ※詳細は学生募集要項（5月初旬にHP掲載予定）あるいは下記URLをご参照願います。
■試験内容	修士課程 ○創成化学専攻群 英語（筆記）・物理化学・有機化学・専門科目・口頭試問（予定） ○先端化学専攻群 英語（筆記）・化学Ⅰ・化学Ⅱ・口頭試問（予定） ○化学工学専攻 英語・専門科目Ⅰ・専門科目Ⅱ・面接（予定） 博士後期課程 ○学生募集要項（5月初旬にHP掲載予定）あるいは下記URLをご参照願います。
■インフォメーション  京都大学桂キャンパスAクラスター（正面）  京都大学桂キャンパスのロゴ 京都大学附属図書館所蔵の国宝の鈴鹿本「今昔物語集」第27巻から「京」「都」「大学」「桂」の5文字を集字	創成化学専攻群 ○材料化学専攻 無機材料、有機材料、高分子材料、ナノマテリアルを中心に、それらの構造と性質・反応性を分子およびナノレベルで解明しながら、新しい機能や性質をもった材料を化学的に設計するとともに、その創製方法を確立することを目指した研究・教育を行っている。 ○高分子化学専攻 人々の生活から産業、医療に至るまで、幅広い分野に展開して豊かな人類社会と先端技術を支える高分子について、精密合成、反応、集合構造、さらに物性、機能の基礎研究と教育を行うとともに、高分子を基盤とする新たな先端学際領域の創成を目指して活動している。 先端化学専攻群 ○物質エネルギー化学専攻 物質の成り立ち、物質の構造・化学的性質、化学的エネルギー変換などに関する教育と研究を行う。化学の基礎知識・基盤技術に立脚し、機能物質の創造と解析、物質の合成とエネルギー生成の新しい触媒反応、エネルギーや資源の有効利用に関する研究を推進する。 ○分子工学専攻 分子・原子・電子の微視的描像に基づき、生体関連機能性物質、高機能性の有機・高分子・無機材料、高機能性触媒、エネルギー・情報変換素子等の設計・開発を理論・実験両面から行う。分子論的視野を持って基礎から応用への展開ができる人材を育成している。 ○合成・生物化学専攻 物質とその機能を創り出す学問である合成化学と、生物の機能を解明し利用する生物化学に関する教育・研究を行い、あわせてそれらの学際領域を開拓し、総合精密科学としての創造性豊かな化学分野の確立を目指す。 化学工学専攻 高機能な物質や材料を化学的変換によって創出し、環境に優しく高効率に物質やエネルギーを生産する方法論について教育、研究を行う。化学工学の特徴は、対象とするプロセスから普遍的な要素を抽出し、動的特性を定式化し、最適システムを構築することにある。
■大学院入試ガイダンスの開催	創成化学専攻群 第1回目 2022年3月18日（金） 午後1時 オンライン開催 第2回目 2022年4月1日（金） 午後1時 オンライン開催 先端化学専攻群 2022年3月30日（水） 午前9時30分 オンライン開催
■問 合 先	〒615-8510 京都市西京区京都大学桂 京都大学 大学院工学研究科 Aクラスター事務区 教務掛 TEL：075-383-2077 EMAIL：090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp ○創成化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/fro/ja/admission/top ○先端化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/adv/ja/admission/top ○化学工学専攻：http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam

大阪工業大学大学院工学研究科 化学・環境・生命工学専攻 応用化学コース	
■募集学生	大阪工業大学大学院工学研究科 化学・環境・生命工学専攻 2023年度学生および社会人募集 博士前期課程および博士後期課程
■出願期間	2023年4月入学 1) 一般入試・社会人入試 (第1回) 出願：2022年6月13日(月)～6月20日(月) 試験：2022年7月2日(土) 合格発表：7月14日(木) 2) 一般入試・社会人入試 (第2回) 出願：2023年2月2日(木)～2月8日(水) 試験：2023年2月18日(土) 合格発表：3月2日(木)  (WEB サイト)
■試験内容 	■一般入試：博士前期課程 (第1回、第2回) ①筆記試験*、②面接試験、③書類審査 (調査票、成績証明書、TOEICの成績) *化学英語および基礎化学 (無機化学、有機化学、物理化学から2分野選択) ■一般入試：博士後期課程 (第1回、第2回) ①面接試験、②書類審査 (調査票、成績証明書) [必要により筆記試験を行うことがある。] ■社会人入試：博士前期課程 (第1回、第2回) ①面接試験、②書類審査 (成績証明書、業歴書、出願理由書他) [必要により基礎学力に関する調査を行うことがある。]
■インフォメーション  みらいをつくる つたえる まもる。 大阪工業大学 OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY	本学は、2022年に学園創立100周年を迎える大学伝統の実践教育を展開してきました。この歴史の中で、とくに最近は「教育力」と「研究力」の向上に注力しており、例えば、文部科学省2017年度私立大学研究ブランディング事業・タイプA【社会展開型】に、本学の「地域産業支援プラットフォーム (OIT-P)」が採択され、本専攻が得意とする「ナノ材料」に関する研究成果を目に見える形で内外に発信してきました。また、国内外の大学や企業との共同研究を進めることにより、先端研究の深化ならびに異分野融合にも積極的に取り組んでいます。社会・時代の要請に応える応用化学を標榜しながら、質の高い基礎研究も重視し、開拓者精神にあふれた、心身ともにたくましい若手技術者・研究者の育成に努めています。 化学・環境・生命工学専攻「応用化学コース」には教員15名により6つの学問領域が設けられ、これらが相互に連携しながら幅広い研究を展開しています。 【合成化学領域】 現代社会のさらなる進歩に向けて、「新しい化合物を作る」ための「新しい合成方法の開発」について研究をしています。 【有機機能化学領域】 超分子化学および構造有機化学に立脚して、ロタキサン、ナノカーボン分子、有機半導体材料、エネルギー変換材料などの研究を行っています。 【高分子材料化学領域】 接着・粘着、ポリマーブレンド、高分子合成、泡、リキッドマーブルなどを含むソフトマテリアル (柔らかい材料) の研究を進めています。 【無機材料化学領域】 太陽光エネルギーの変換・貯蔵・有効利用を目的として、金属ナノ粒子、量子ドット、イオニクス材料などの研究を行っています。 【分子認識化学領域】 生体内でホルモンバランスや代謝など様々な機能に大きく関与しているイオンの測定に関して“社会の求める実用センサー”の開発を行っています。 【物質生命化学領域】 生物が生み出す天然物を活用し、グリーンケミストリーに立脚した低環境負荷型の反応を開発して、生命や社会に役立つ分子を合成しています。 ■海外研究支援プログラム 研究目的の海外派遣について、渡航費、研究費、宿泊等生活費の大部分がサポートされる制度です。留学期間は1ヶ月以上！行き先は指導教員が推薦するところへ！
■大学院入試ガイダンスの開催	大宮キャンパスでは高校生対象のオープンキャンパスを例年8月上旬と下旬に2回開催していますので、その機会にぜひ訪問してください。研究室の見学も歓迎します。
■問 合 先	〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1 大阪工業大学工学部応用化学科事務室 Tel：06-6954-4268、Fax：06-6957-2135 大学院入試サイト HP：https://www.oit.ac.jp/japanese/juken/graduate/

大阪公立大学(旧大阪府立大学)大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 応用化学分野

■募集学生

2022年度秋入学・2023年度春入学

■博士前期課程：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、推薦入学を実施（推薦入学は春入学のみ）

■博士後期課程：一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を実施

■出願期間（年間予定）

博士前期課程、博士後期課程、秋入学、春入学共通

■インターネット出願登録期間 2022年6月3日(金) 10時～13日(月) 17時
書類提出（出願）期間 2022年6月6日(月)～13日(月) 消印有効

■試験内容

■博士前期課程（推薦入学）春入学

英語【外部試験】、小論文、口述試験

日程：2022年7月23日(土)

■博士前期課程（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、秋入学・春入学共通）

筆記試験（専門科目1、2）、英語、口述試験

※英語はTOEIC、TOEFL-iBT又はIELTSの成績で評価する。

日程：2022年8月23日(火)、24日(水)

■博士後期課程（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、秋入学・春入学共通）

筆記試験（専門科目）、英語、口述試験

※出願書類などから判断して、筆記試験を免除する場合あり

日程：2022年8月24日(水)

募集方法等の詳細については随時更新しますので、本学Webサイト等でご確認ください。

■インフォメーション



大阪公立大学



20世紀には、化学は高品質な製品を大量に生産するものづくりを通して、人類の暮らしを向上させてきました。しかし、21世紀の社会では、環境と人にやさしく、人類の福祉に役立つ素材を提供する“新しい化学”（新しいものづくり）が今までも増して求められています。未来を支える“新しい化学”は、既存の概念や既存の化学からではなく、柔軟な感性と価値観によって育まれた、独創性と個性豊かな“Only One Chemistry”から生まれます。

大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野には、無機・物理化学系と有機・高分子化学系それぞれに5つの基幹研究グループ（無機・物理化学系：分析化学、無機化学、物理化学、電気化学、表面計測化学、有機・高分子化学系：物性有機化学、有機機能化学、合成高分子化学、有機合成化学、生体高分子化学）があり、物質・新素材の創製、エネルギー変換、環境浄化、バイオマテリアルの開発など、基礎から最先端にいたる幅広い分野において、オリジナリティーに満ちた“Chemistry”を展開しています。

また、大阪公立大学は、文部科学省「大学フェローシップ創設事業」及び科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択されており、選考を通過した多くの博士後期課程の学生に奨学金を支給して、経済面で安心して研究に取り組める環境を提供するとともに、海外留学や長期インターンシップ等を通じた「未来の科学技術を支える研究人材の育成」に注力しています。

応用化学分野では、他大学・他分野からの学生を広く募集しています。フラスコの中には、未知の化学の世界が無限に広がっています。フレッシュな感性と新しい価値観で、君だけの化学を創造してみませんか。応用化学分野では、“Do Your Chemistry”を合言葉に掲げ、君だけの化学の実現を強力にサポートします。

■問 合 先

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻応用化学分野

TEL・FAX 072-254-9910 E-mail: office@chem.osakafu-u.ac.jp

http://www.chem.osakafu-u.ac.jp/

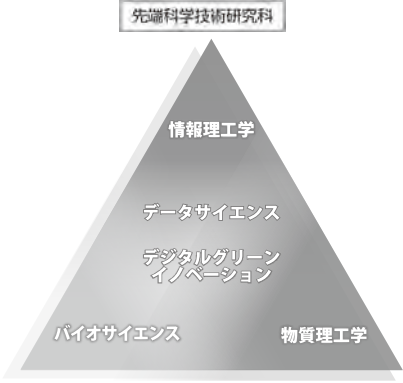
兵庫県立大学 大学院理学研究科 物質科学専攻

■募集学生	■令和5年4月入学 博士前期課程・博士後期課程（一般、社会人、外国人） ■令和4年10月入学 博士前期課程・博士後期課程（一般、社会人、外国人）
■出願期間（年間予定）	■令和5年4月入学者推薦入学試験（博士前期課程、一般のみ） 出願：令和4年6月上旬～中旬（予定）試験：令和4年7月上旬（予定） ■令和5年4月入学者選抜試験 出願：令和4年7月中旬～7月下旬（予定）試験：令和4年8月中旬（予定） ■令和4年10月入学者選抜試験 出願：令和4年7月中旬～7月下旬（予定）試験：令和4年8月中旬（予定） ■令和5年4月入学者選抜試験（二次募集） 出願：令和5年1月上旬～中旬（予定）試験：令和5年2月上旬（予定）
■試験内容	■令和5年4月入学者推薦入学試験（博士前期課程、一般のみ） 小論文、面接、書類審査 ■令和5年4月入学者選抜試験および令和4年10月入学者選抜試験 一般 博士前期課程：学力試験（専門科目）、面接、TOEICまたはTOEFLの成績（入学願書提出期限から3年以内）、書類審査 博士後期課程：口述試験、書類審査 社会人 博士前期課程：口述試験、面接、TOEICまたはTOEFLの成績（入学願書提出期限から3年以内）、書類審査 博士後期課程：口述試験、書類審査 外国人 博士前期課程：学力試験（専門科目、英語）、面接、書類審査 博士後期課程：口述試験、書類審査 ■令和5年4月入学者選抜試験（二次募集） 口述試験、書類審査等、詳細はホームページをご覧ください。
■インフォメーション   	令和3年度に物質理学研究科と生命理学研究科が統合され、理学研究科が充足しました。理学研究科物質科学専攻では、数学、物理学、化学などの一般的分類にとらわれずに、学際的な教員組織・教育カリキュラムを編成し、境界領域において実力を発揮できる研究者や技術者を育成しています。また、生命科学専攻とも連携を取り、高度な専門性を習得できるとともに、研究分野の幅の広がりをも可能にしています。さらに、他の研究機関から優れた研究者を連携・協力講座に招き、研究教育の一層の充実を図っています。 物質科学専攻博士前期・後期課程では、物質の原子・分子レベルの構造および電子構造に基づいた物性と反応に関する高度な研究教育を行うため、以下の4つの大講座を設置し、それぞれの大講座に属する教員が互いに緊密な連携をとることにより、さらに総合的な研究、教育を実施しています。 【物質基礎解析学部門】 物質の示す性質を理論的に解き明かす物性基礎理論を学ぶとともに、数学的手法を活用して物性を支配する物質の電子状態などを理論的に解明する方法を学びます。 【物質機能解析学部門】 物質が示す電気、磁気、光学などの性質を、様々な実験を通してミクロな視点から理解するとともに、新しい物理現象の探索やその機構を解明する手法を学びます。 【物質構造制御学部門】 結晶構造の違いや集合状態の違いにより、物質が発現する多彩な物理的性質をミクロな立場から理解するとともに、物理的・化学的手法によりその構造と物性を制御する手法を学びます。 【物質反応解析学部門】 物質変化の基礎をなす化学反応について、その基本原理を理解する能力を身につけるとともに、新物質の合成や微量生成物を効果的に分析する手法などを学びます。 また、物質科学専攻では5年一貫型教育コースとしてフォトンサイエンスコースを設置し、近隣のSPRING-8などの放射光施設を利用した若手研究者の教育に取り組んでいます。さらに、生命科学専攻と協力して、3つのセンター（フォトンサイエンス研究センター、ピコバイオロジー研究センター、共同利用機器センター）を設立し、学内はもとより国内外の大学ならびに企業・研究機関との共同研究を推進しています。
■大学院入試ガイダンスの開催	本理学研究科物質科学専攻の受験を考えておられる他大学のみなさまのために、見学会（大学院オープンキャンパス）を随時受け付けています。 https://www.sci.u-hyogo.ac.jp/entrance/observation/open_campus/daigakuinn.html
■問 合 先	〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3-2-1 兵庫県立大学播磨理学キャンパス学務課 TEL：0791-58-0102 FAX：0791-58-0131 URL： https://www.sci.u-hyogo.ac.jp/index-j.html

奈良女子大学大学院（化学系）

■募集学生	■人間文化総合科学研究科 化学生物環境学専攻 化学コース（博士前期課程） 推薦選抜、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜 ■人間文化総合科学研究科 自然科学専攻 化学生物環境学講座 化学コース（博士後期課程） 一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜
■出願期間（年間予定）	■人間文化総合科学研究科 化学生物環境学専攻 化学コース（博士前期課程） 令和4年10月入学者 出願期間：令和4年6月20日(月)～6月23日(木) 試験日：令和4年7月9日(土) 令和5年4月入学者 夏の募集 出願期間：令和4年6月20日(月)～6月23日(木) 試験日：令和4年7月9日(土) 冬の募集 出願期間：令和5年1月4日(水)～1月10日(火) (推薦選抜は実施しません) 試験日：令和5年1月28日(土) ■人間文化総合科学研究科 自然科学専攻 化学生物環境学講座 化学コース（博士後期課程） 令和4年10月入学者 試験日：令和4年8月26日(金) 令和5年4月入学者 試験日：令和4年8月26日(金) または、令和5年1月29日(日) または、令和5年3月2日(木) 博士後期課程の出願期間は、ホームページでご確認ください。 詳細はホームページ (http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2_b.html) でご確認ください。
■試験内容	■人間文化総合科学研究科 化学生物環境学専攻 化学コース（博士前期課程） ○推薦選抜：口述試験（志望理由や提出した「研究希望調書」の内容に関する口述）とTOEICまたはTOEFL（推薦選抜は、夏の募集の7月入試のみ実施） ○一般選抜：化学の基礎問題（無機化学、有機化学、物理化学。これらの中に化学英語を含む場合がある）に関する筆記試験、口述試験、TOEICまたはTOEFL ○社会人特別選抜：化学の基礎問題（無機化学、有機化学、物理化学。これらの中に化学英語を含む場合がある）に関する筆記試験、口述試験、TOEICまたはTOEFL ○外国人留学生特別選抜：化学の基礎問題（無機化学、有機化学、物理化学。これらの中に化学英語を含む場合がある）に関する筆記試験、口述試験（筆記および口述試験は、日本語と英語のどちらかで受験できます）、TOEICまたはTOEFL 冬の募集（1月実施）の内容は上記と異なります。必ずホームページまたは募集要項でご確認ください。 ■人間文化総合科学研究科 自然科学専攻 化学生物環境学講座 化学コース（博士後期課程） ○一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜：口述試験（提出論文、希望研究課題を中心に行います。）
■インフォメーション  	■化学生物環境学専攻 化学コース（博士前期課程）/ 自然科学専攻 化学生物環境学講座 化学コース（博士後期課程） 博士前期課程化学コースでは、化学およびその周辺分野を幅広く網羅したカリキュラムを設定し、高度な現代化学を明解に説き起こすことによって、基盤的な知識や思考力を培うことを目指しています。さらに、化学コースの先端的な学術研究に参画し、その経験を通じて化学および関連科学技術分野で活躍できるスキルや柔軟な応用力を身につけることができます。化学コースの教育研究分野は、「物理化学」「有機化学」「無機化学」の3つの分野から成り立っています。各分野3～6名の教員で構成されていて、化学コース全体で14名の教員が教育・研究を展開しています（令和4年4月現在）。 博士後期課程化学コースでは、専門分野の研究をさらに高度に進めることになります。専門の化学研究をさらに追究し、プロの研究者に必要な研究能力を身につけます。
■大学院入試ガイダンスの開催	化学生物環境学専攻 化学コース（博士前期課程）の入試説明会を5月頃に予定しています。詳細は決定次第、化学コースのホームページに情報を掲載します。参加希望者は、化学コース長までメールで連絡ください。化学コース長のメールアドレスは、化学コースホームページを参照ください。
■問 合 先	〒630-8506 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学学務課大学院係 TEL 0742-20-3063 daigakuin@cc.nara-wu.ac.jp 奈良女子大学入試課大学院等入試係 TEL 0742-20-3023 nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp 奈良女子大学大学院化学コース ホームページ：http://www.chem.nara-wu.ac.jp

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科（物質創成科学区分）

■募集学生	博士前期（修士）課程 2023年度春学期（2022年度秋学期）入学 大学学部卒・高専専攻科修了若しくは修了見込みであること 博士後期（博士）課程 2023年度春学期（2022年度秋学期）入学 大学院修士課程を修了若しくは修了見込みであること
■出願期間	博士前期（修士）課程 第1回：2022年6月6日～6月8日 第2回：2022年9月26日～9月28日 第3回：2023年2月6日～2月8日 博士後期（博士）課程 第1回：2022年7月25日～27日 第2回：2023年1月23日～25日 ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認ください。 https://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/
■試験内容	博士前期（修士）課程 面接により実施。 提出した小論文に基づく口述発表、物質科学関連の試問。 博士後期（博士）課程 面接により実施。 専門知識の試問及びこれまでの研究概要、これからの研究計画の試問。 ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認ください。 https://www.naist.jp/admission/exam/guidelines/
■インフォメーション    先端科学技術研究科 情報理工学 データサイエンス デジタルグリーン イノベーション バイオサイエンス 物質理工学	奈良先端大は、学部を置かず、先端科学技術の研究と大学院教育に特化した、国立の大学院大学です。日本のみならず世界各地から集まる学生が、全員新入生という立場でスタートラインに立ち、初めてを前提としたカリキュラムで基礎・専門知識を習得するとともに、充実した研究環境の下で最先端の研究に取り組んでいます。従来の学問の専門分野の壁を取り払い最先端研究領域の融合化に取り組むため、2018年4月にこれまでの情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3研究科を「先端科学技術研究科」として統合しています。特に教育・学生支援面では ●年3回（7月／10月／3月）の入試の実施 ●1000人の学生に対して200人の教員によるきめ細かい教育・研究指導 ●高度な専門性や融合領域への挑戦に必要な基礎・専門知識を習得するための、7つの「教育プログラム」の設定 ●社会実装までを想定して社会ニーズに基づく問題の解決を行う、民間企業の研究者・技術者による、PBL（Project Based Learning）形式の演習の実施 ●キャリア支援室による企業紹介・個別就職活動支援 さらに博士後期課程では、 ●4週間の海外英語研修と海外ラボステイやダブルディグリープログラムによる、国際的に通用する研究者の育成 ●リサーチアシスタント／ティーチングアシスタント制度による経済支援 などの特徴があります。 一方、物質創成科学領域における研究では、物性・デバイス・化学・バイオマテリアルズ・データサイエンスという基礎から応用まで幅広い分野、および社会的要請の強い特定分野の優秀な研究者が集まっており、物質の仕組みを深く理解し、最先端技術を支えている基盤技術を創成しています。材料の構造・性質・機能の関係を電子レベル、原子レベル、分子レベルから基礎的に解明すると同時に、AI・ML（マテリアルズインフォマティクス）の技術も取り入れて多様な機能物質を設計・解析し、新しいデバイス開発に結び付けるトータルエンジニアリングを行っています。その研究成果は、新理論の構築、新現象の発見、新デバイス・新技術の提供、革新的な材料・装置の発明などとして結実し、私たちの未来を豊かにします。物質科学の新しい先端融合領域に果敢に挑戦できる学生の皆さんを歓迎します。日本トップクラスの恵まれた研究・教育環境のもとで、物質創成科学領域の新しい伝統を築きあげていきましょう。
■学生募集イベントの開催	受験生のためのオープンキャンパス 2022年5月開催予定（詳細はHPでご確認ください。） 学生募集説明会 4～5月、8～9月、1～2月に開催予定です。詳細は下記URLで随時掲載します。 https://www.naist.jp/
■問 合 先	〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学事務室 電話：0743-72-6006 E-mail：ms-jimu@ms.naist.jp HP：https://mswebs.naist.jp

鳥取大学大学院工学研究科・持続性社会創生科学研究科

■募集学生

令和5年度 大学院学生募集
大学院 工学研究科 博士後期課程 工学専攻
[応用化学講座・生物応用工学講座] 定員若干名
社会人特別入試・外国人留学生特別入試も実施しています！ 学位取得実績多数！
大学院 持続性社会創生科学研究科 博士前期課程 工学専攻 化学バイオコース
[応用化学分野・生物応用工学分野] 定員40名

■出願期間および試験日程 (令和3年度・4年度入試日程を参考掲載)



芝生広場より工学部玄関（奥の4階建て）を望む

■博士後期課程（一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試） 【4月入学】

第1回入試：出願は6月18日～6月23日*、試験は7月9日*
第2回入試：出願は11月12日～11月17日*、試験は12月9日*

【10月入学】

第1回入試：出願は11月12日～11月17日*、試験は12月9日*
第2回入試：出願は翌年6月18日～6月23日*、試験は翌年7月8日*

(*令和3年度の入試の日程です。令和4年度は改組のため日程が変則でした。令和5年度の日程についてはお問合せください。)

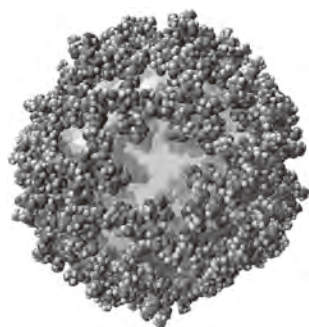
※出願資格審査が必要な方は出願期間の約30日前に申請書類を提出する必要がありますので早めにお問い合わせください。

■博士前期課程（一般入試）

第1回入試：出願は7月27日～7月30日**、試験は8月19日**
第2回入試：出願は11月2日～11月5日**、試験は12月9日**

(**昨年度（令和4年度）入試の日程です。令和5年度の日程についてはお問合せください。)

■試験内容



【研究例】

植物ウイルス由来ペプチドの自己集合による人工ウイルスキャプシド（松浦教授提供）

■博士後期課程（一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試） 【一般入試】

書類審査・口述試験・筆記試験の結果を総合して判定します。

【社会人特別入試・外国人留学生特別入試】

書類審査・口述試験の結果を総合して判定します。（筆記試験は免除）
（口述試験は志望する研究分野に関連する科目、修士学位论文（進捗状況を含む）、研究業績、今後の研究計画等について行います。筆記試験は英語（辞書の持ち込み可、ただし電子辞書を除く）について行います。）

■博士前期課程（応用化学分野・生物応用工学分野）

筆記試験(600点)・面接試験(100点)・英語(TOEICスコアを200点満点に換算)
その他出願書類を総合して判定します。筆記試験の内容は次の通りです。

【筆記試験内容】

「有機化学・分析化学、無機化学・物理化学、微生物学・分子生物学、生化学・構造生物学」の中から2科目選択（300点×2）

■インフォメーション



【研究例】

次世代電気自動車のリチウムイオン電池に用いられる新材料の開発（坂口教授提供）

★化学バイオコースの概要

本コースは化学と生物に基礎をおく物質変換・生産の分野を体系的にとらえ、従来の化学工業における基幹的技術はもちろんのこと、物質生産にかかわる微生物学や遺伝子工学の分野も取り入れた、新しい化学技術を担う人材を育成するための研究教育を行っています。応用化学分野ではグリーン触媒化学・無機材料化学・応用電気化学・分子集積化学・有機合成化学・有機反応化学・無機元素化学・生物機能関連化学の8研究室、生物応用工学分野では生物機能開発工学・タンパク質工学・生体触媒工学・生物有機化学・構造生物学の5研究室で構成され、それぞれの分野で世界的にも高く評価されています。

★博士号取得のチャンスです！—博士後期課程—

本コースでは大学院博士後期課程で学ぶ方を広く募集しています。入学にあたっては、4月入学と10月入学が選べます。また、就学スタートアップ支援奨学金制度が受けられる特典があります（ただし国費留学生を除く）。さらに、就業や育児・介護などの事情により標準修業年限を超えて履修することができる長期履修学生制度もあり、希望する場合は最長6年間まで認められます（その場合でも学費は3年分です）。また、修士の学位を取得していない方でも、個別の出願資格審査に合格すれば出願できますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせ先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部教務係
E-mail en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp TEL 0857-31-5186
工学専攻URL <http://eng.tottori-u.ac.jp/>
化学バイオコースURL <http://chembio.tottori-u.ac.jp/>

九州大学大学院工学府応用化学専攻

■募集学生	九州大学大学院工学府応用化学専攻 2023年 4月入学 修士課程（一般）、博士後期課程（一般、社会人） 2022年 10月入学 博士後期課程（一般、社会人）
■出願期間（年間予定）	■2023年4月入学： 修士課程（一般） 出願：2022年6月下旬～7月初旬（予定） 試験：2022年8月下旬（予定） 博士後期課程（一般） 夏季出願：2022年7月中旬（予定） 夏季試験：2022年8月下旬（予定） （一般、社会人） 春季出願：2023年1月中旬（予定） 春季試験：2023年2月下旬（予定） ■2022年10月入学： 博士後期課程（一般、社会人） 出願：2022年7月中旬（予定） 試験：2022年8月下旬（予定）
■試験内容	■修士課程（一般選抜）： 筆記試験（専門科目）及び面接を行う。専門科目は「機能物質化学系科目」、「分子生命工学系科目」のいずれかを受験する。 英語資格試験（TOEICまたはTOEFL）のスコア証明書の提出を要する。 ■博士後期課程（一般選抜）： 専攻科目及び修士学位論文（修士課程終了見込みの者は研究経過報告書）について筆記又は口頭試問を行う。 ■博士後期課程（社会人特別選抜）： これまでの研究成果及び入学後の研究計画等に関して口頭試問を行う。
■インフォメーション  	応用化学専攻は、人々の生活を豊かにし、安心で安全な持続可能な社会の実現に貢献する様々な物質・素材を創出するために必要な、高度な専門知識と実践力を持った人材を育成することを教育目的としています。 修士課程では、学士課程で修得した応用化学に関する知識を基に新しい視点から課題を解決させ、さらにより細分化・高度化した専門知識とより実践的な実験技術、および最先端の技術開発を行うことができる幅広い知識を自らの力で身に付けさせて、社会のニーズに適応しうる創造性豊かで責任感ある人材を育成しています。年次が進むにつれてより専門化・高度化した教育・研究を実現するため、応用化学専攻には、機能物質化学コースと分子生命工学コースの2コースを設置して、教育を行っています。 2つのコースは専門とする領域で分かれており、機能物質化学コースでは主に機能材料の創成に関して、分子生命工学コースでは主に分子システム化学を基盤とする教育研究を行っています。修士課程ではそれぞれ目的に応じて必要な科目を自らが決めて履修する目的指向型のカリキュラムとし、応用化学の様々な分野を幅広く俯瞰する力を備えていながら、細分化された専門的な領域に対応できる人材の育成を目指しています。 博士後期課程は、修士課程で培った専門的・学術的な基礎や実践力を高度に発展させながら、分野横断的な最先端研究の情報を収集して、自ら研究課題を設定して、世界レベルで高い影響力を持つ独創的な研究成果を生み出せる研究者・技術者の育成を目指しています。 応用化学部門に所属する研究室については下記HPをご覧ください。 応用化学部門HP： http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~appchem/
■問 合 先	〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学工学部等教務課教務係 Tel：092-802-2724 大学院入試関連HP： http://www.eng.kyushu-u.ac.jp より入試情報ページを参照

九州大学大学院理学府化学専攻

■募集学生	(1) 2023年度 理学府修士課程学生募集（一般選抜および自己推薦方式による選抜） (2) 2023年度 理学府修士課程学生募集（社会人特別選抜） (3) 2023年度 理学府博士後期課程学生募集（一般選抜） (4) 2022年度 理学府博士後期課程学生募集（社会人特別選抜10月入学） (5) 2023年度 理学府博士後期課程学生募集（社会人特別選抜4月入学） (6) 2023年度 理学府修士課程／博士後期課程学生募集（外国人留学生特別選抜）
■年間予定	<u>修士課程学生募集の日程</u> (1) 一般選抜および自己推薦方式による選抜 出願期間：2022年6月下旬～7月上旬 自己推薦方式による選抜の口頭試問：2022年7月下旬 一般選抜試験の学力検査および口頭試問：2022年8月下旬 (2) 社会人特別選抜 出願期間：2022年6月下旬～7月上旬 口頭試問：2022年7月下旬 (6) 外国人留学生特別選抜 出願期間：2022年12月上旬 学力検査および口頭試問：2023年1月下旬 <u>博士後期課程学生募集の日程</u> (3) 一般選抜 出願期間：2023年1月上旬 口頭試問：2023年1月下旬 (4) 社会人特別選抜10月入学 出願期間：2022年6月下旬～7月上旬 口頭試問（必要に応じて筆記試験）：2022年7月下旬 (5) 社会人特別選抜4月入学 出願期間：2023年1月上旬 口頭試問（必要に応じて筆記試験）：2023年1月下旬 (6) 外国人留学生特別選抜 出願期間：2022年12月上旬 口頭試問：2023年1月下旬
■試験内容	・修士課程学生募集の試験内容 「一般選抜」では英語（TOEICの成績）と化学（無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、構造化学、生物化学の中から任意に3科目を選択）に関する筆記試験および口頭試問により合否を判定します。従って、受験時にTOEICの成績証明書が必要です。 また、一般選抜入試志願者の中で希望する者に対して、筆記試験を免除し口頭試問によって合否を判定する「自己推薦方式による選抜」を実施します。出願書類によって本選抜試験の対象者を決定します。本選抜試験の結果、筆記試験を免除されなかった者も、上記の一般選抜試験を別途手続きすることなく受験できます。ただし、自己推薦方式による選抜にもTOEICの成績証明書が必要です。 社会人特別選抜や外国人留学生特別選抜では、志望分野に関連する化学や英語に関する口頭試問などによって合否を判定します。 ・博士後期課程学生募集の試験内容 修士論文あるいはこれに相当するものを口頭で発表させ、それを中心に専門分野や関連分野に関する口頭試問を行って合否を判定します。社会人特別選抜では、必要に応じて英語および専門化学に関する筆記試験を行います。 ※TOEICは、Listening & Reading TestまたはSpeaking & Writing Testsに限る。
■インフォメーション 	九州大学大学院理学府化学専攻では、原子から小分子、複雑な分子、高分子、さらに生体を構成する巨大分子に及ぶ様々な階層の物質構成単位や原子・分子集合体に関して、元素の特性と分子構築の原理、化学反応と機能発現の機構、ならびに分子の設計と合成法などについて教育・研究を行っています。最先端の理論および実験手法を用いることで、独創的な研究を遂行する能力を身につけ、将来、化学の研究、教育、技術開発および生産の分野で活躍できる専門家を育成すると同時に、倫理観に基づき真に人類社会に貢献できる人材の育成を目指しています。 このような観点から、「化学の分野で将来、指導的役割を果たす研究者、教育者、あるいは技術者として人類社会に貢献したい」という強い熱意と適性をもつ学生を募集します。
■大学院入試ガイダンス	大学院オープンキャンパスをR4年3月28日(月)とR4年4月29日(祝・金)に開催します。詳細は下のHPをご覧ください。
■問 合 先	〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学理学部等事務部教務係 TEL 092-802-4013（ダイヤルイン） http://www.scc.kyushu-u.ac.jp

沖縄科学技術大学院大学（OIST） 科学技術研究科 科学技術専攻

■募集学生	2023年度9月入学（同年5月及び翌年1月入学可） 科学技術研究科 科学技術専攻 博士課程学生募集（5年一貫制博士課程のみ）
■出願締切	沖縄科学技術大学院大学（OIST）では入学願書を随時受け付けています。書類選考を通過した方を、本学で開催の入試ワークショップに招待します。 2023年1月下旬～2月上旬開催の冬季入学者選抜へ参加を希望する場合： ・2022年11月15日 2023年5月下旬～6月上旬開催の夏季入学者選抜へ参加を希望する場合： ・2023年3月31日 詳細はホームページ（ https://admissions.oist.jp/ja ）をご覧ください。
■出願書類	・成績証明書及び在学証明書または卒業（卒業見込）証明書 ・志望動機書（英語400語以内） ・パスポートのコピー（もしくは写真付きの公的な身分証明書） ・推薦状2通から5通 ・（英語による教育を行っていない大学出身の出願者の場合）過去2年以内に取得したTOEFLもしくはIELTSのスコア 上記の書類を本学ホームページの出願サイトよりご提出下さい。
■選考プロセス	出願者から提出された書類は入学者選抜委員会にて厳正に審査します。その後、書類選考を通過した学生を、オンラインで開催する入学者選抜に招待します。入学者選抜は、OIST全般や博士課程について知っていただくためのセッション及び面接により構成されており、本学教員と計4回の面接が行われます。入学者選抜終了後、入学者選抜委員会による厳正な審議が行われ、最終的な可否通知を行います。
■インフォメーション	沖縄科学技術大学院大学（OIST）は沖縄県恩納村に位置する5年一貫制の博士課程を置く大学院大学で、神経科学、分子・細胞・発生生物学、数学・計算科学、環境・生態学、物理学、化学、海洋科学、工学・応用科学の8分野に大別される研究を行っています。2012年9月に、単一の研究科と専攻（科学技術研究科科学技術専攻）を提供する5年一貫制の博士課程が開設されました。 国際的、学際的な大学であるため、教員及び学生の半数以上は外国人であり、学内の公用語は英語です。実際に、82名の教員のうち6割が海外からの教員、学生も約45の国・地域出身という国際色豊かな大学です。また、OISTで設置している博士課程は学際的なものであり、各々の分野の壁を越えた共同研究や交流が推奨されています。OISTでは年間約60名の学生を受け入れ、全ての学生に年間約240万円の経済支援があります。キャンパス内学生宿舍の助成制度や国内・国際会議に出席する際の旅費サポート等、学生支援制度も充実しています。これは、国際競争力を持った世界最高水準の研究教育を行なうため、海外の主要大学や研究機関に倣い設定しています。 OISTは教職員・学生の多様性を理念の一つとし、女性を含め、全ての研究者たちにとって公平公正な研究環境となるよう取り組みを進めています。現在、博士課程学生の40%以上が女性であり、今後入学を志す学生たちを積極的に支援しています。 国内にしながら、海外の博士課程と同等な環境で、博士号取得を目指しませんか。OIST博士課程についてのさらに詳しい内容を知りたい方はホームページをご覧ください。
■大学院入試ガイダンスの開催	沖縄科学技術大学院大学（OIST）では、オンラインまたは全国各地でのサイエンス・カフェやその他イベントを開催しています。日程や会場などの詳細を随時更新していますので、OISTホームページ（ https://admissions.oist.jp/ja ）にてご確認ください。
■問い合わせ先	〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶 1919-1 沖縄科学技術大学院大学（OIST）学外エンゲージメントセクション TEL：098-966-1512 E-mail：admissions@oist.jp 入試ホームページ： https://admissions.oist.jp/ja

別冊 大学院入試案内

発行日 2022年4月1日

編集 公益社団法人 日本化学会

発行 「化学と工業」広告小委員会

発行所 公益社団法人 日本化学会

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

Tel. 03-3292-6165 Fax. 03-3292-6319

E-mail : kakoshi@chemistry.or.jp